Panasonic

取扱説明書

デジタルカメラ

品番 **DMC-FS7**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（6～9ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

VQT2G29-1

安全上のご注意

はじめに

準備

基本

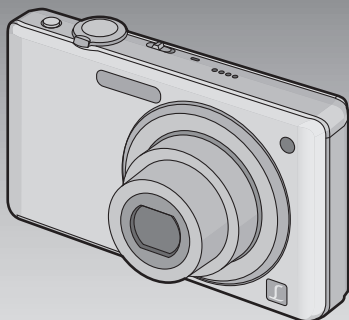
応用・撮影

応用・再生

他の機器との接続

その他Q&A

大切な瞬間を 楽しく カンタンに 撮る・

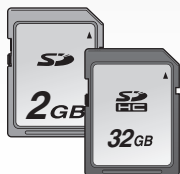
撮る P28

おまかせで撮る

(P28)

- カメラが自動でシーンを判別
  「インテリジェントオートモード」

ズームで撮る

(P33)

- 遠くの人も大きく
  「光学4倍ズーム」など

各機器にSDカードスロットがある
場合は、カードを直接スロットへ!

- SDHCカードは、SDHCカード
  対応機器でのみ使用できます。

見る・残す LUMIX（ルミックス）

見る

● テレビで見る

SDカード　AVケーブル

残す

● ご家庭のプリンターで手軽にプリント
（PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンター）
● お店でカードを渡してプリント
● 画像に日付を入れてプリント（P87）

SDカード　USB接続ケーブル

さらに 活かす、残す！

● 画像をパソコンに保存
● パソコンで画像をメール送信
● パソコンで画像を直接操作してプリント

SDカード　USB接続ケーブル

● DVDレコーダーで画像をDVDやハード
ディスクに保存

※詳しくは、DVDレコーダーの取扱説明書をお読みください。

SDカード

もくじ

はじめに

準備

基本

応用・撮影

→「安全上のご注意」を必ずお読みください(6〜9ページ)

応用・再生

他の機器との接続

その他・Q & A

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流 100 V～240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠警告

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

⚠注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離（数cm）で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

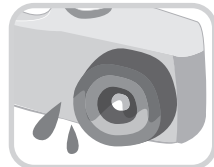
- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

- **本機を落としたり、ぶつけたりして、強い振動や衝撃を与えないでください。また、本機に強い圧力をかけないでください。**
  誤動作や、画像が記録できなくなる、またはレンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座ったり、いっぱいになったかばんなどに無理に入れたりしないでください。
- ハンドストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますので、お気をつけください。
- **下記の場所では、故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。**
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ
- **レンズ部や端子部を汚れた手で触らないでください。**
  また、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入らないようにお気をつけください。
- **本機は防水構造ではありません。万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。**
  正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ つゆつきについて(レンズがくもるとき)…

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源を [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■「使用上のお願い」も、あわせてお読みください(P101)

付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は2009年7月現在のものです。

☐ CD-ROM
● パソコンにソフトウェアをインストールしてからお使いください。

☐ **ハンドストラップ**
VFC4297

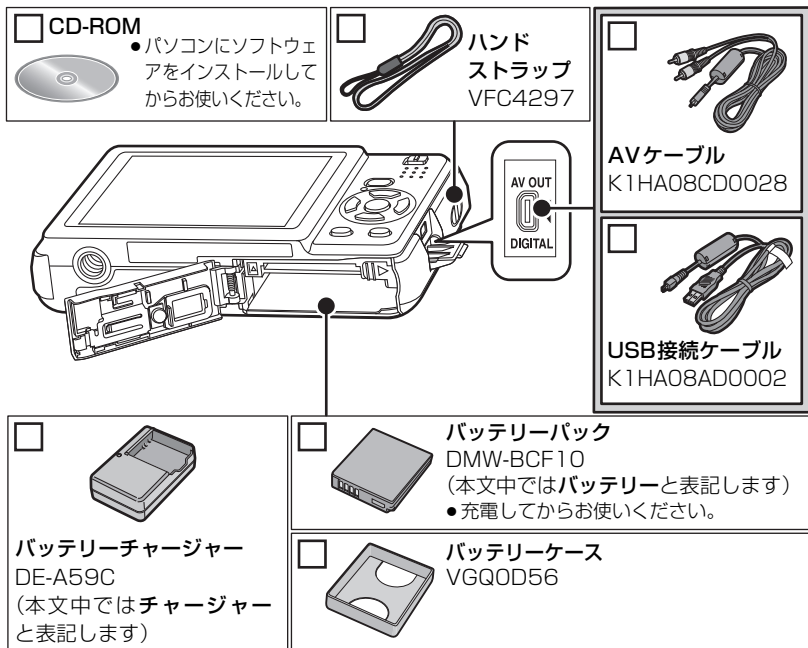
☐ **AVケーブル**
K1HA08CD0028

☐ **USB接続ケーブル**
K1HA08AD0002

AV OUT
DIGITAL

☐ **バッテリーチャージャー**
DE-A59C
（本文中では**チャージャー**と表記します）

☐ **バッテリーパック**
DMW-BCF10
（本文中では**バッテリー**と表記します）
● 充電してからお使いください。

☐ **バッテリーケース**
VGQ0D56

- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については89ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

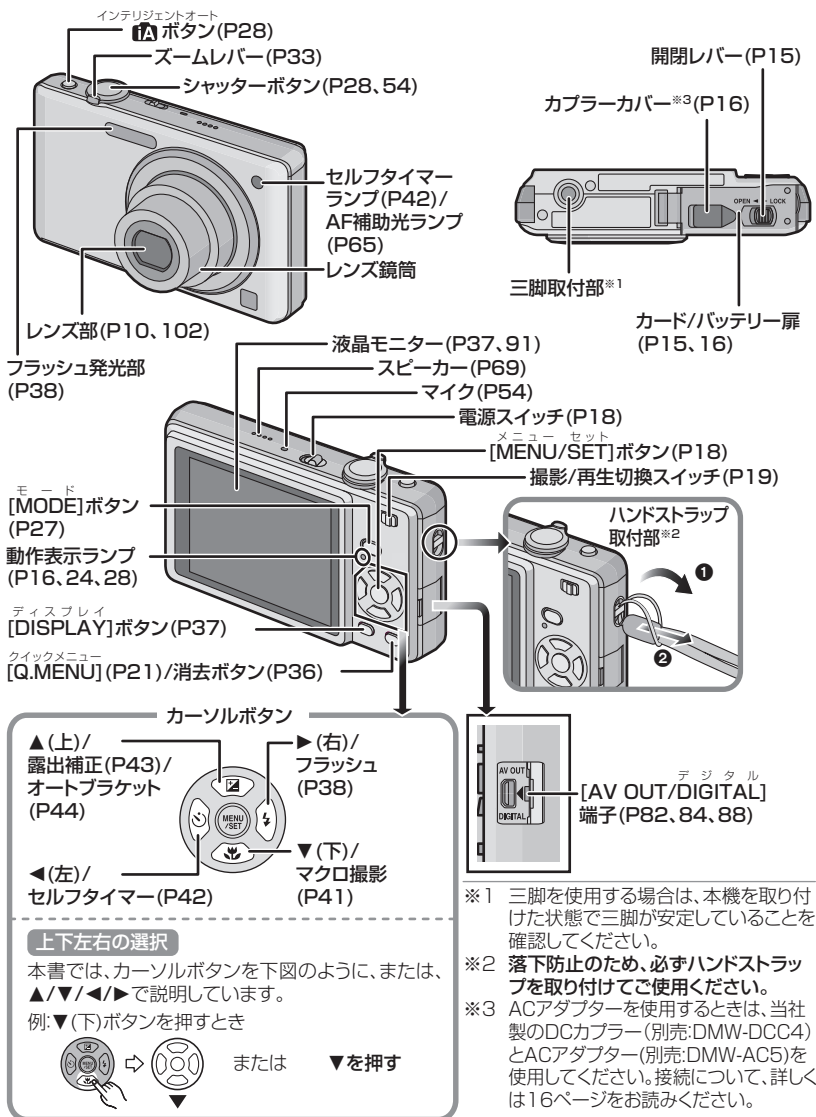
CLUB Panasonic
Pana Sense

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

各部の名前

※1　三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

※2　**落下防止のため、必ずハンドストラップを取り付けてご使用ください。**

※3　ACアダプターを使用するときは、当社製のDCカプラー(別売:DMW-DCC4)とACアダプター(別売:DMW-AC5)を使用してください。接続について、詳しくは16ページをお読みください。

バッテリーを充電する

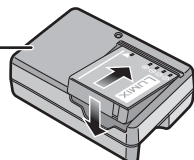
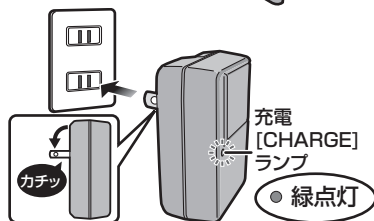
■ 本機で使えるバッテリー(2009年7月現在)

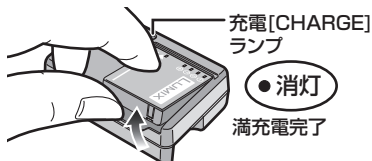
本機で使えるバッテリーはDMW-BCF10です。

> パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。
> なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。
- 本機には、安全に使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー(DMW-BCF10)は、この機能に対応しています。本機で使用できるバッテリーは、純正品と当社認証を取得した他社製バッテリーです。(この機能に対応していないバッテリーは使用できません)
  なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質・性能・安全性については一切保証できません。
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。
- 充電は周囲の温度が10 ℃～35 ℃(バッテリーの温度も同様)のところで行ってください。

1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

チャージャー(本機専用)

2 電源コンセントに差し込む

3 充電が完了したらバッテリーを取り外す

- 充電が完了すると、チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。

バッテリーを充電する（つづき）

■ 充電ランプが点滅するときは

- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。充電時間が通常よりも長くなります。または充電が完了しない場合があります。
- チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

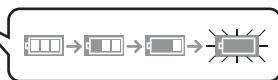
お知らせ

- 充電完了後は、電源コンセントから外してください。
- 使用後や充電中、充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- 充電完了後にバッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。（使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります）
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。
- **チャージャーは海外でも使うことができます。（P90）**
- **電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**

バッテリーについて（充電・記録可能枚数）

■ バッテリー残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。
[ACアダプター（別売）につないで使用するときは表示されません]

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。（液晶モニターが消灯しているときは、動作表示ランプが点滅します）
  バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

■ 電池寿命について

記録可能枚数	約360枚	条件はCIPA規格で通常撮影モード時
撮影使用時間	約180分	

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%、液晶モニターを点灯※
- 当社製のSDメモリーカード（32 MB）使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正[AUTO]使用）
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

※[オートパワーLCD]、[パワーLCD]または[ハイアングル]（P23）時は記録可能枚数が減少します。

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。
[例えば2分に1回撮影した場合は、上記（30秒に1回撮影）の枚数の約1/4（約90枚）になります]

再生時間	約390分

記録可能枚数/再生時間は、バッテリーの保存状態や使用条件によって多少変わります。

■ 充電について

充電時間	約130分

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

充電が正しく完了すると、チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。
別売のバッテリーパック(DMW-BCF10)の充電時間と**記録可能枚数**は、付属のバッテリーパックの場合と同じです。

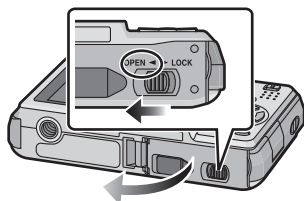
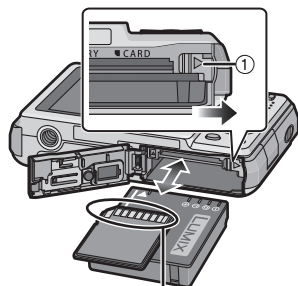
お知らせ

- バッテリーは、充電回数が増えると、使用時間が短くなり、膨らむ特性を持っています。長く使用するためには、頻繁な継ぎ足し充電を避けてお使いいただくことをおすすめします。
- スキー場などの低温下では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなる場合があります。

準備

バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す

- 電源が[OFF]になっていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

1 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

2 バッテリー:
向きに気をつけて、①のレバーでロックされるまで入れる
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード:
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

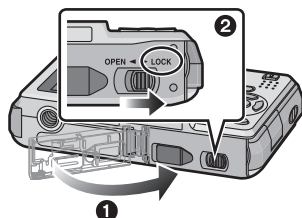
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

接続端子部
端子部には触れないでください。

向きを確認

バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す（つづき）

3 ❶カード/バッテリー扉を閉じる
❷開閉レバーをLOCK側にスライドさせる

- カード/バッテリー扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出し、カードの向きを確認してからもう一度入れ直してください。

お知らせ

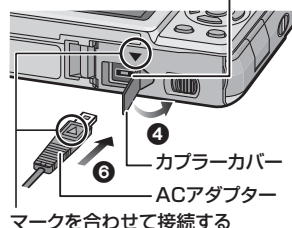
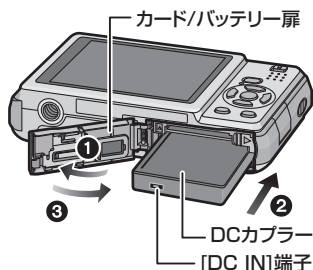
- 使用後は、バッテリーを取り出して、バッテリーケース(付属)に収納してください。
- 液晶モニターや動作表示ランプ(緑)が点灯した状態でバッテリーを取り出さないでください。カメラの設定が正しく保存されない可能性があります。
- 付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。
- バッテリーは当社製のものをお使いください。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、動作表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

■ バッテリーの代わりに ACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使う

ACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC4)は、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

❶ カード/バッテリー扉を開く
❷ DCカプラーを向きに気をつけて入れる
❸ カード/バッテリー扉を閉じる
- カード/バッテリー扉は確実に閉じてください。

❹ カプラーカバーを開ける
- 開けにくい場合は、カード/バッテリー扉を開いた状態で、内側からカプラーカバーを押して開けてください。

❺ ACアダプターを電源コンセントに差し込む
❻ ACアダプターをDCカプラーの[DC IN]端子に接続する
- 必ず本機専用のACアダプターおよびDCカプラーを使用してください。それ以外を使用すると、故障の原因になることがあります。

お知らせ

- 三脚の種類によっては、DCカプラー接続時に取り付けることができないものがあります。
- ACアダプター接続時は、本機を立てておくことができません。置いて作業をする場合は、柔らかい布の上に置くことをおすすめします。
- ACアダプター接続時にカード/バッテリー扉を開くときは、必ずACアダプターを抜いてください。
- 使わないときは、ACアダプターおよび DCカプラーを取り外し、カプラーカバーを閉じておいてください。
- AC アダプターおよび DCカプラーの取扱説明書もお読みください。
- 別売品については、89 ページをお読みください。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターの使用をおすすめします。
- AC アダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電や AC アダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。

内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。
- **カードを挿入していない場合:**
  内蔵メモリーで画像の記録・再生
- **カードを挿入している場合:**
  カードで画像の記録・再生

内蔵メモリーの場合
IN　→IN（アクセス表示※）
カードの場合
→（アクセス表示※）
※アクセス表示は赤く点灯します。

内蔵メモリー

- **容量:約50 MB**
- **記録できる動画:QVGA(320×240画素)のみ**
- カードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。
- 記録した画像はカードにコピーすることができます。(P81)
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機では、以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

カードの種類	特長
SDメモリーカード(8 MB～2 GB) (SD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマット済み)	● 記録/読み出し速度が速い。 ● 書き込み禁止スイッチが付いています。(スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。) 書き込み禁止スイッチ 2GB
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)※ (SD規格に準拠したFAT32形式でフォーマット済み)	
マルチメディアカード	● 静止画のみ対応。
miniSDカード	● 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。(アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、カードを入れてお使いください。)
microSDカード/microSDHCカード	

※2006年にSDアソシエーションにより策定された、2 GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。
※SDHCメモリーカード対応の機器で使用できますが、SDメモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。(必ずお使いの機器の説明書をお読みください)
- 4 GB以上のカードはSDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

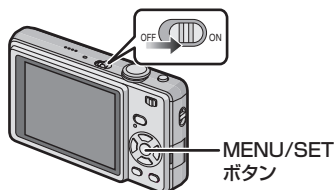
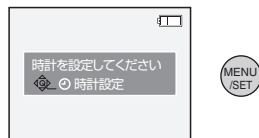
お知らせ

- **アクセス表示点灯中[画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット(P26)中など]は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売)を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。**
  カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
  振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P26)

時計を設定する

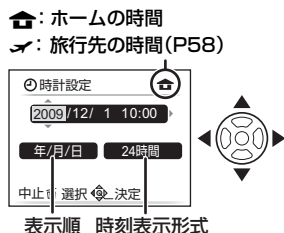
- お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源を [ON] にする

- 「時計を設定してください」が表示されます。(再生モード時は表示されません)

2 [MENU/SET] を押す

3 ◀/▶ で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼ で設定する

- 表示順を変えると、以下のように表示されます。
  (例;2009年12月1日10時00分)
  ・[年/月/日]:2009/12/ 1 10:00
  ・[日/月/年]:10:00 1/DEC/2009
  ・[月/日/年]:10:00 DEC/ 1/2009
- 時刻表示形式は[24時間]または[AM/PM]から選択します。
- [AM/PM] 表示に切り換えた場合は、AM/PM が表示されます。
- 時刻表示形式を[AM/PM]に設定すると、午前0:00はAM12:00、午後0:00は PM12:00で表示されます。この表示はアメリカなどで一般的に使用されている表示方法です。
- [🗑]を押すと、時計を設定せずに中止します。

: ホームの時間
: 旅行先の時間(P58)

時計設定
2009/12/ 1 10:00
年/月/日 24時間
中止 選択 決定

表示順 時刻表示形式

4 [MENU/SET] を押して決定する

- 時計設定終了後、一度電源を[OFF]にしてから撮影モードで[ON]にして、設定どおり表示されているか確認してください。

時計設定を変更する

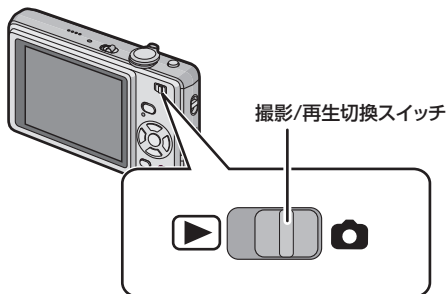
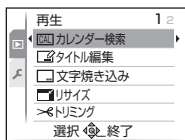
撮影メニューまたはセットアップメニューの[時計設定]を選び、▶ を押してください。(P20)

- 上記の手順**3、4** の操作で変更できます。
- **バッテリーなしでも約3ヵ月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に 24 時間入れてください)**

お知らせ

- 撮影時に[DISPLAY]を数回押すと、時計が表示されます。
- 年は2000年から2099年まで設定できます。
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込み(P73)を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

[▶](再生メニュー)(P70～81)	[📷](撮影メニュー)(P59～65)
●画像の保護や切り抜き、プリントするときに便利な設定(DPOF)など、撮影した画像に対して設定ができます。	●色合いや感度、横縦比、画素数などをお好みで設定できます。

[🔧](セットアップメニュー)(P22～26)
●時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。 ●[セットアップメニュー]は[撮影モード]、[再生モード]のどちらからでも設定できます。

お知らせ

●本機では仕様上、お使いの状況により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

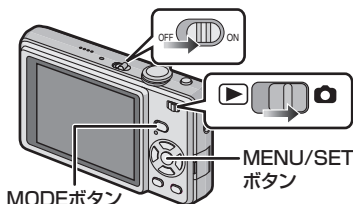
メニューを使って設定する（つづき）

メニュー項目の設定方法

ここでは、通常撮影モードの設定方法を説明していますが、再生メニューやセットアップメニューも同じ方法で設定できます。
例）通常撮影モードで、[オートフォーカスモード]を[■]（1 点）から[ ]（顔認識）に設定する

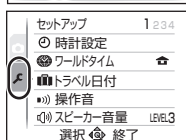
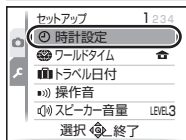
1 電源を [ON] にする

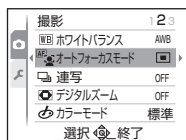
2 撮影/再生切換スイッチを[ ] にし、[MODE] を押す

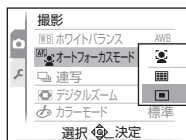
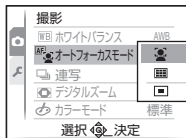
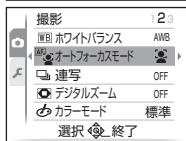
- 再生メニューを設定するときは、撮影/再生切換スイッチを[▶]にして、手順**4**へ進んでください。

3 ▲/▼ で [通常撮影] を選び、[MENU/SET] を押す

4 [MENU/SET] を押してメニューを表示させる

- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

セットアップメニューとの切り換え
1 ◀ を押す 選択時オレンジ色で表示
2 ▼でセットアップメニューアイコン[ ]を選ぶ
3 ▶ を押す ● 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

5 ▲/▼で[オートフォーカスモード]を選ぶ

- 一番下の項目を選んで、さらに▼を押すと、2画面目に移ります。

6 ▶を押す

- 項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされかたが異なるものがあります。

7 ▲/▼で[ ]を選ぶ

8 [MENU/SET]を押して決定する

9 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- モードによっては、設定できない項目もあります。
- [手ブレ補正](P65)を選択しているときに[DISPLAY]を押すと、[手ブレ·動き検出デモ]を表示することができます。

1 撮影状態で、クイックメニューが表示されるまで[Q.MENU]を押したままにする

2 ▲/▼/◀/▶で項目と設定内容を選び、[MENU/SET]を押して終了する

設定する項目と設定内容が表示されます。

準備

セットアップメニューを使う

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

● インテリジェントオートモード時は、[時計設定]、[ワールドタイム]、[操作音] のみ設定できます。

項目	設定(▶ はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
時計設定 日付や時刻を変更するときに設定します。	● 詳しくは、18ページをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。	[旅行先]: 旅行先の地域 ▶ [ホーム]: お住まいの地域 ● 詳しくは、58ページをお読みください。
トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定します。	[トラベル日付設定]: ▶ [OFF] [設定] [旅行先]: ▶ [OFF] [設定] ● 詳しくは、56ページをお読みください。
操作音 操作音やシャッター音を設定します。	[操作音音量]: []: なし ▶ []: 小 []: 大 [シャッター音音量]: []: なし ▶ []: 小 []: 大 [操作音音色]: ▶ [❶] [❷] [❸] [シャッター音音色]: ▶ [❶] [❷] [❸]
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	▶ [LEVEL3] ● テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。
液晶明るさ 液晶の明るさを7段階に調整します。	▶ [±0]

セットアップメニューの設定方法はP20へ

セットアップメニューの設定方法はP20へ

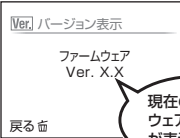
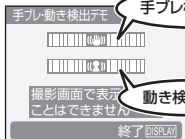
項目	設定（▶はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
LCD LCDモード 高い位置から撮影するときや、屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。	▶[OFF] [(オートパワーLCD)]：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [(パワーLCD)]：液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 [(ハイアングル)]：高い位置から撮影するときに見やすくします。 ●[ハイアングル]は、電源が切れると（パワーセーブを含む）解除されます。 ●液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ●[パワーLCD]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。 ●太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。 ●[オートパワーLCD]、[パワーLCD]または[ハイアングル]時は記録可能枚数が減少します。 ●再生モードでは、[オートパワーLCD]または[ハイアングル]は選択できません。
表示サイズ 一部のアイコンやメニュー画面の表示のサイズを変更します。	▶[標準] [大]
フォーカスアイコン フォーカスアイコンを変更します。	▶[●] [❀] [♡] [★] [♫] [🚗]

準備

セットアップメニューを使う（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ</th></tr>
<tr><td>ECOエコモード

設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。
また、使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、バッテリーの消耗を防ぎます。</td><td>[パワーセーブ]：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。
[OFF]
[2分]
▶[5分]
[10分]
[自動液晶OFF]：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に液晶モニターを消灯します。
▶[OFF]
[15秒]
[30秒]
●[パワーセーブ]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源を[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。
●インテリジェントオートモード時は、[パワーセーブ]は[5分]に固定されます。
●[自動液晶OFF]を[15秒]または[30秒]に設定すると、[パワーセーブ]は[2分]に固定されます。
●液晶モニター消灯中は動作表示ランプが点灯します。液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。
●メニュー操作や再生ズームなどの操作中は、[自動液晶OFF]は働きません。
●以下の場合、[パワーセーブ]は働きません。
・ACアダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時
・動画撮影／再生時　・スライドショー時
・自動デモ
●以下の場合、[自動液晶OFF]は働きません。
・ACアダプター使用時　・パソコンまたはプリンター接続時
・セルフタイマー設定時　・動画撮影時
・メニュー画面表示中　・自動デモ</td></tr>
<tr><td>オートレビュー

撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。</td><td>[OFF]
[1秒]
▶[2秒]
[ホールド]：ボタンを押すまで表示
[ズーム]：1秒表示後4倍拡大で1秒表示
●オートブラケット撮影(P44)、シーンモードの[高速連写](P50)、[フラッシュ連写](P51)、[フォトフレーム](P53)、[連写](P63)時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。(拡大はされません)
●インテリジェントオートモード時は[2秒]に固定されます。
●動画撮影モードでは働きません。</td></tr>
</table>

項目	設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	● フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。(P83) ● フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P26)することをおすすめします。 ● フォルダー番号を100にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定** **セットアップ設定** ● 撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。 ● セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの[回転表示](P77)は[ON]、[お気に入り](P77)は[OFF]になります。 ・マイシーンモードの登録設定(P45) ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2](P49)、[ペット](P50)の誕生日設定、名前設定 ・[トラベル日付](P56)の設定内容(出発日、帰着日、旅行先) ・[ワールドタイム](P58)の設定内容 ● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。
USBモード USB接続ケーブル(付属)を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	▶ **[接続時に選択]**：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。 **[PictBridge(PTP)]**：PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 **[PC]**：パソコンに接続する場合に設定します。 ● [PC]に設定すると、USBのMass Storage(マス ストレージ)通信方式で接続されます。 ● [PictBridge(PTP)]に設定すると、USBのPTP(Picture Transfer Protocol)(ピクチャー トランスファー プロトコル)通信方式で接続されます。
ビデオ出力 各国のカラーテレビ方式に合わせて設定します。(再生モードのみ)	▶ **[NTSC]**：日本やアメリカなど **[PAL]**：ヨーロッパなど ● AVケーブル接続時に働きます。

準備

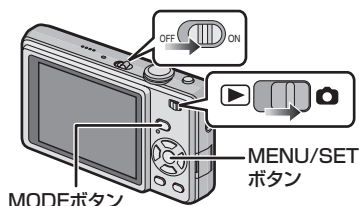
セットアップメニューを使う（つづき）

セットアップメニューの設定方法はP20へ

項目	設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ
TV画面タイプ テレビの種類に合わせて設定します。 (再生モードのみ)	▶ [16:9]: 画面が16:9のテレビと接続時 [4:3]: 画面が4:3のテレビと接続時 ●AVケーブル接続時に働きます。
Ver. バージョン表示 本体のファームウェアバージョンを確認できます。	Ver. バージョン表示 ファームウェア Ver. X.X 戻る 現在のファームウェアバージョンが表示されます
フォーマット 内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。**	●フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使用し、フォーマット中は電源を[OFF]にしないでください。 ●カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 ●他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ●カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。 ●フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
DEMO **デモモード** 手ブレの状態と被写体の動きをカメラが自動的に感知して、その状態を表示したり(手ブレ・動き検出デモ)、本機の特長をスライドショーで表示します(自動デモ)。	**[手ブレ・動き検出デモ]** 手ブレ・動き検出デモ 手ブレ検出デモ 動き検出デモ 撮影画面で表示することはできません 終了 DISPLAY **[自動デモ]** [OFF] ▶ [ON] ●再生モード時に[手ブレ・動き検出デモ]は表示できません。 ●[手ブレ・動き検出デモ]を終了する場合は、[DISPLAY]を押してください。 ●[手ブレ・動き検出デモ]は目安です。 ●[自動デモ]はテレビ出力されません。

撮影モードを選ぶ

撮影モードを切り換えると、被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うインテリジェントオートモードや、目的に適した撮影ができるシーンモードなどに設定することができます。

1. 電源を [ON] にする
2. 撮影/再生切換スイッチを [📷] にする
3. [MODE] を押す
4. ▲/▼ でモードを選ぶ
5. [MENU/SET] を押す

撮影モード一覧

iA インテリジェントオートモード P28

カメラにおまかせで撮影します。

📷 通常撮影モード P31

お好みの設定で撮影します。

MS マイシーンモード P45

あらかじめ登録した撮影シーンで撮影します。

SCN シーンモード P45

撮影シーンに合わせて撮影します。

動画撮影モード P54

音声付き動画を撮影します。

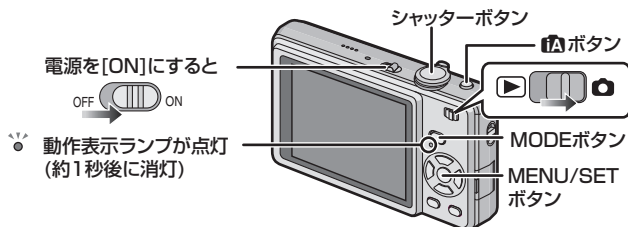
お知らせ

- 再生モードから撮影モードに切り換えたときは、前回設定した撮影モードになります。
- インテリジェントオートモードの選びかたについては、28 ページをお読みください。

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）

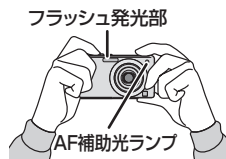
撮影モード：iA

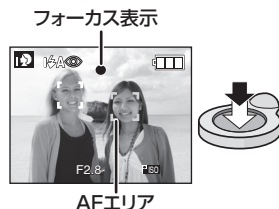
被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

● 以下の機能が自動的に働きます。
・自動シーン判別/手ブレ補正/インテリジェントISO/顔認識/逆光補正/デジタル赤目補正

1 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

2 ▲/▼で[インテリジェントオート]を選び、[MENU/SET]を押す

● 撮影/再生切換スイッチが撮影側のときに[iA]を押すと、すぐにインテリジェントオートモードに切り換えることができます。もう一度[iA]を押すと、切り換える前のモードに戻ります。

3 両手で軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

4 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

● ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
● 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAFエリアが表示されます。
● ピントが合う範囲は5 cm（W端時）/50 cm（T端時）～∞です。
● ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。

5 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

● 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示（P17）が赤く点灯します。

■ フラッシュを使って撮影するときは(P38)

■ ズームを使って撮影するときは(P33)

お知らせ
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプを指などでふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

[iA] →

[アイコン]	i 人物	
[アイコン]	i 風景	
[アイコン]	i マクロ	
[アイコン]	i 夜景＆人物	・[⚡A]選択時のみ
[アイコン]	i 夜景	・[⊛]選択時のみ

- どのシーンにもあてはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [ ]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大 8 秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。

■ 顔認識について

[ ]、[ ]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。(P63)

お知らせ
- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗/被写体の大きさ/被写体までの距離/被写体の濃淡/
    被写体が動いている場合
  - ・撮影条件
    夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生した場合/ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。

■ 逆光補正について

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。本機では、逆光補正が自動で働きます。

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）（つづき）

撮影モード：iA

フラッシュについて

- [⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]になります。
- [i⚡A◎]または[i⚡S◎]の場合は、フラッシュが2回発光します。

インテリジェントオートモード時の設定内容

- 以下の機能のみ設定できます。

撮影メニュー

・[記録画素数]※(P59)/[連写](P63)/[カラーモード]※(P64)

※他の撮影モード使用時と設定できる内容が異なります。

セットアップメニュー

・[時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音]

- 以下の設定項目は固定されます。

項目	設定内容
エコモード(パワーセーブ)(P24)	5分
オートレビュー(P24)	2秒
フラッシュ(P38)	⚡A/Ⓢ
セルフタイマー(P42)	10秒 /OFF
クオリティ(P60)	[ファイン]
インテリジェントISO(P60)	ISOMAX 1600
ホワイトバランス(P61)	AWB
オートフォーカスモード(P62)	[顔認識](顔が認識されないときは[[多点]])
手ブレ補正(P65)	AUTO
AF補助光(P65)	ON

- 以下の機能は使えません。

・[自動液晶OFF]/ 露出補正/オートブラケット/[デジタルズーム]

- セットアップメニューのその他の項目は、通常撮影モードなどで設定することができます。設定した内容はインテリジェントオートモードに反映されます。

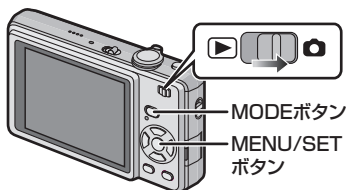
お好みの設定で撮る（[camera]：通常撮影モード）

撮影モード：[camera]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。
撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 撮影/再生切換スイッチを[[camera]]にし、[MODE]を押す

2 ▲/▼で[通常撮影]を選び、[MENU/SET]を押す

- 撮影時の設定を変更したいときは、59ページの「撮影メニューを使う」をお読みください。

3 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- ピントが合う範囲は50 cm～∞です。
- さらに近づいて撮影するときは、41ページの「近づいて撮る（AFマクロ撮影/ズームマクロ撮影）」をお読みください。

5 半押しのままさらにシャッターボタンを全押しして撮影する

- 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示（P17）が赤く点灯します。

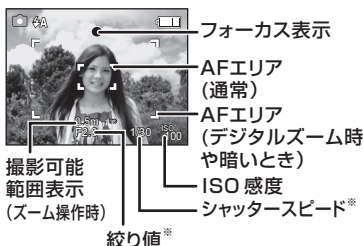
■ 画像が暗く写るときなどに、露出を補正して撮影するには（P43）

■ 画像が赤っぽく写るときなどに、色を調整して撮影するには（P61）

基本

お好みの設定で撮る（[カメラ]：通常撮影モード）（つづき）

撮影モード：[カメラ]

ピントの合わせかた

被写体をAFエリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	白→緑	白→赤
音	ピピッ	ピピピピッ

※ 適正露出にならないときは赤くなります。（ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません）

ピントが合わないとき（被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど）

1 被写体にAFエリアを合わせ、**シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する

2 **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

- 手順 **1** の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

人物を撮影するときは、顔認識機能をお使いいただくことをおすすめします。（P62）

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの／撮影可能範囲表示が赤く表示されているとき／ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき／暗いときや手ブレしているとき／被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示［((📷))］が表示されたときは、手ブレ補正（P65）、三脚、セルフタイマー（P42）などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - ・シーンモード（P45）の［夜景&人物］/［夜景］/［パーティー］/［キャンドル ］/［星空］/［花火］

縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。（［回転表示］（P77）を［ON］に設定している場合のみ）

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

ズームを使って撮る

撮影モード：iA ◎ MS SCN 動画 （iA時はデジタルズーム設定不可）

光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/デジタルズームで撮る

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。さらに大きく(最大7.1倍)撮るには、各画像横縦比(4:3/3:2/16:9)で最大記録画素数以外の記録画素数に設定してください。
また、撮影メニューで[デジタルズーム]を[ON]に設定すると、より拡大が可能になります。

大きく撮るには(望遠)

ズームレバーをT側へ回す

広く撮るには(広角)

ズームレバーをW側へ回す

■ ズームの種類

種類	光学ズーム	EX光学ズーム(EZ)	デジタルズーム
最大倍率	4倍	7.1倍※	16倍(光学ズーム4倍含む) 28.5倍(EX光学ズーム7.1倍含む)
画質	劣化しない	劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	なし	EZ付きの記録画素数(P59)を選ぶ	撮影メニューの[デジタルズーム](P64)を[ON]に設定する
画面表示	W T	EZ W T EZを表示	デジタルズーム領域を表示 W T EZ W T

● ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。(例：0.5m－∞)

※　記録画素数や画像横縦比により変わります。

■ EX光学ズームの仕組み

例えば[3M](300万画素相当)に設定すると、CCDの持つ10M(1010万画素相当)の領域のうち、3M(300万画素相当)分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

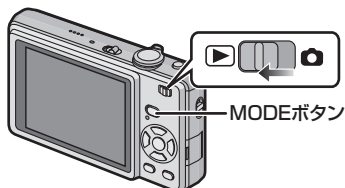
お知らせ

- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
- 電源[ON]時はW端(1倍)です。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- デジタルズーム領域では、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P42)を使って撮影することをおすすめします。
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
  - ・ズームマクロ撮影時
  - ・シーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]
  - ・動画撮影モード
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
  - ・シーンモードの[変身]、[スポーツ]、[赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]、[ペット]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]
  - ・[インテリジェントISO]設定時

画像を見る（通常再生）

再生モード：[▶]

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にする

- 以下の場合は自動的に通常再生になります。
  - ・撮影モードから再生モードに切り換えたとき
  - ・撮影/再生切換スイッチが[▶]時に、電源を[ON]にしたとき

2 ◀/▶で画像を送る

◀：前の画像へ　　▶：次の画像へ

- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。

■ 早送り/早戻しをするには

再生中に◀/▶を押したままにする

◀：早戻し　　▶：早送り

- ファイル番号と画像番号のみが1枚ずつ更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに◀/▶を離すと、その番号の画像が表示されます。
- 押し続けると、送る枚数が増加します。

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

ズームレバーを[■]（W）側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨
カレンダー検索（P70）

- ズームレバーを[Q]（T）側に回すと、1つ前に戻ります。
- 回転表示はされません。

■ 1画面表示に戻すには

1　▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ

- 撮影画像や設定によって、アイコンが表示されます。

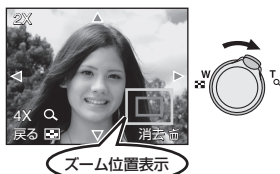
2　[MENU/SET]を押す

- 選択されていた画像が表示されます。

再生画面を拡大する(再生ズーム)

ズームレバーを[Q](T)側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- 拡大したあと、ズームレバーを[▦](W)側に回すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置表示が表示され、▲/▼/◀/▶で拡大部分の位置を移動させることができます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- 表示する位置を移動させると、約1秒間ズーム位置が表示されます。

お知らせ

- 本機は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
- 撮影した画像を拡大して保存したい場合は、トリミングを行ってください。(P76)
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。
- 動画再生時は再生ズームは使えません。

基本

再生モードを切り換えるには

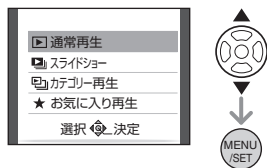
1 再生時に[MODE]を押す

2 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

[通常再生](P34)
すべての画像を再生します。

[スライドショー](P66)
画像を順番に再生します。

[カテゴリー再生](P68)
カテゴリーで分類した画像を再生します。

[お気に入り再生](P68)※
お気に入りの画像を再生します。
※[お気に入り]を設定していないときは、[お気に入り再生]は表示されません。

画像を消去する

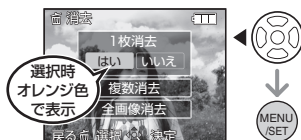
再生モード：▶

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

- 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。

1枚消去

1 消去する画像を選び、[🗑]を押す

2 ◀で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

複数(50枚まで)/全画像消去

1 [🗑]を押す

2 ▲/▼で[複数消去]または[全画像消去]を選び、[MENU/SET]を押す

- [全画像消去]→手順**5**へ

3 ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[DISPLAY]で設定する(繰り返す)

- 設定した画像に[🗑]が表示されます。もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

4 [MENU/SET]を押す

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

■ [お気に入り](P77)設定時に[全画像消去]を選んだときは

再度、選択画面が表示されます。[全画像消去]または[★以外全消去]を選び、▲で[はい]を選んで画像を消去してください。([お気に入り] 設定した画像がない場合は、[★以外全消去]を選択できません)

お知らせ

- 消去中([🗑]表示中)は電源を[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使用してください。
- [複数消去]、[全画像消去]または[★以外全消去]中に[MENU/SET]を押すと、途中で消去が中止されます。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- DCF規格外または[プロテクト]設定(P80)された画像の場合は、[全画像消去]または[★以外全消去]をしても消去されません。

液晶モニターの表示を切り換える

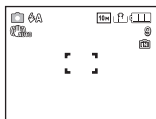
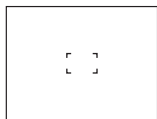
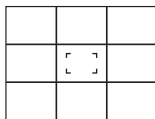
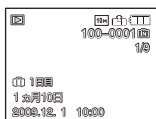
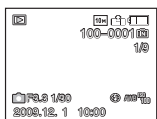
[DISPLAY]を押して切り換える

- メニュー画面表示時は[DISPLAY]は働きません。
  再生ズーム時(P35)、動画再生中(P69)、スライドショー中(P66)は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

再生時

基本

応用・撮影

お知らせ

- シーンモード(P45)の[夜景&人物]、[夜景]、[星空]、[花火]では、ガイドラインはグレーで表示されます。
- シーンモード(P45)の[フォトフレーム]では、ガイドラインは表示されません。

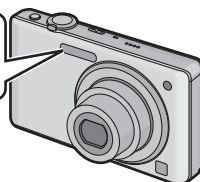
■ ガイドライン表示について

被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

画面全体を3等分にして、バランスのよい構図の撮影を行いたい場合に使います。

フラッシュを使って撮る

撮影モード：iA ● MS SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

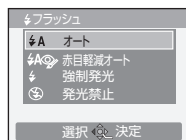
1 ▶(ϟ)を押す

2 ▲/▼でモードを選ぶ

- ▶(ϟ)でも選ぶことができます。
- 選択できるフラッシュ設定については、39ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をお読みください。

ϟフラッシュ
ϟA　オート
ϟA◎　赤目軽減オート
ϟ　強制発光
⊘　発光禁止
選択　決定

3 [MENU/SET]を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

項目	設定内容
ϟA: オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
ϟA◎: 赤目軽減オート※	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● 暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。
ϟ: 強制発光 ϟ◎: 赤目軽減強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 ● 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。 ● シーンモード(P45)の[パーティー]、[キャンドル]時のみ、[ϟ◎]になります。
ϟS◎: 赤目軽減スローシンクロ※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ● シーンモード(P45)の[夜景&人物]、[パーティー]、[キャンドル]時のみ、[ϟS◎]に設定できます。
⊘: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。

※ フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また、発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。

■ デジタル赤目補正について

赤目軽減([⚡A◎]、[⚡◎]、[⚡S◎])選択時にフラッシュが発光すると、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

※赤目の状態によっては補正できない場合があります。また、目以外の物が補正される場合があります。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(○：設定可、×：設定不可、◎:シーンモード初期設定)

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	(⚡)
iA	○※	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	◎	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	◎	○	○
	×	×	×	○	○	◎
1	○	◎	○	×	×	○

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	(⚡)
2	○	◎	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	×
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	◎	○	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	○

※[⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]になります。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を[OFF]にしても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。

応用・撮影

■ ISO感度別フラッシュ撮影可能範囲

ISO感度	フラッシュ撮影可能範囲	
	W端時	T端時
AUTO	約30 cm〜約6.3 m	約50 cm〜約3.0 m
ISO80	約30 cm〜約1.7 m	約50 cm〜約80 cm
ISO100	約30 cm〜約2.0 m	約50 cm〜約90 cm
ISO200	約40 cm〜約2.8 m	約50 cm〜約1.3 m
ISO400	約60 cm〜約4.0 m	約60 cm〜約1.8 m
ISO800	約80 cm〜約5.6 m	約60 cm〜約2.6 m
ISO1600	約1.15 m〜約8.0 m	約90 cm〜約3.7 m

- シーンモードの[高感度](P50)では、[ISO1600]〜[ISO6400]の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。W端時:約1.15 m〜約16 m　T端時:約90 cm〜約7.5 m
- シーンモードの[フラッシュ連写](P51)では、[ISO100]〜[ISO3200]の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。W端時:約30 cm〜約4.0 m　T端時:約50 cm〜約1.9 m

フラッシュを使って撮る (つづき)

撮影モード: iA ● MS SCN

■ インテリジェントISO設定時のフラッシュ撮影可能範囲

最高ISO感度(P60)	フラッシュ撮影可能範囲	
	W端時	T端時
ISOMAX 400	約60 cm～約4.0 m	約60 cm～約1.8 m
ISOMAX 800	約80 cm～約5.6 m	約60 cm～約2.6 m
ISOMAX 1600	約1.15 m～約8.0 m	約90 cm～約3.7 m

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/30～1/2000秒
⚡A👁	
⚡ ⚡👁	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S👁	1または1/8～1/2000秒※1 1または1/4～1/2000秒※2
⊘	

※1 [手ブレ補正](P65)の設定によって変わります。
※2 [インテリジェントISO]設定時(P60)

- ※1、2でシャッタースピードが最大1秒になるのは、以下の場合です。
  ・[手ブレ補正]が[OFF]のとき
  ・[手ブレ補正]設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- シーンモード時のシャッタースピードは上表と異なります。

お知らせ

- フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。また、**[自動液晶OFF]を設定しているときは、液晶モニターが消灯し、動作表示ランプが点灯します。**
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

近づいて撮る（AFマクロ撮影/ズームマクロ撮影）

撮影モード：

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W端）にすると、レンズから5 cmまで接近して撮影できます。（AFマクロ撮影）
W端の距離（5 cm）のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影することもできます。（ズームマクロ撮影）

1 ▼（）を押す

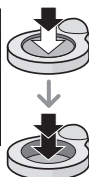
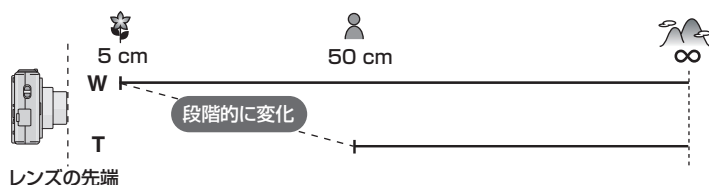
2 ▲/▼でマクロ撮影モードを選ぶ

3 [MENU/SET]を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

撮影可能範囲表示

- AFマクロ撮影時は[AF]、ズームマクロ撮影時は[ ]が表示されます。
- 解除するには手順**2**で[OFF]を選んでください。
- ズーム操作時は、ズーム領域と撮影可能範囲、ズーム倍率が表示されます。ズームマクロ時のズーム領域表示は青色（デジタルズーム領域）になります。

■ AFマクロ撮影時のピントの合う範囲

- ズームマクロ撮影時は、ズームの位置にかかわらず、ピントの合う範囲は5 cm～∞になります。

お知らせ

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[]にすることをおすすめします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が50 cm以上離れている場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- ズームマクロで撮影すると、通常撮影時よりも画質が劣化します。
- ズームマクロ設定時、EX光学ズームおよび[インテリジェントISO]は働きません。

セルフタイマーを使って撮る

撮影モード: iA 📷 MS SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

1 ◀(🕓)を押す

2 ▲/▼で時間を選ぶ

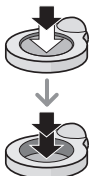
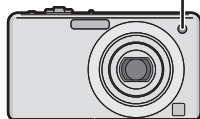
- ◀(🕓)でも選ぶことができます。

セルフタイマー
OFF
10秒
2秒
選択 決定

3 [MENU/SET]を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約5秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
- セルフタイマー動作中に[MENU/SET]を押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

セルフタイマーランプ

お知らせ

- セルフタイマーを2秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光(P65)として明るく点灯することがあります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- [連写]の撮影枚数は、3枚に固定されます。
- シーンモードの[フラッシュ連写]の撮影枚数は、5枚に固定されます。
- インテリジェントオートモード時は、2秒に設定できません。
- シーンモードの[自分撮り]時は、10秒に設定できません。
- シーンモードの[高速連写]時は、セルフタイマーは使えません。

露出を補正して撮る

撮影モード：[カメラ][MS][SCN][動画]

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出オーバー

露出をマイナス方向に補正してください。

適正露出

露出をプラス方向に補正してください。

露出アンダー

▲([露出補正])を押し、[[露出補正] 露出補正] を表示させ、◄/► で露出を補正する

- 露出を補正しない場合は、“0 EV” を選んでください。

[MENU/SET] を押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 露出補正値は、画面左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの [星空] 時は、露出補正は使えません。

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

撮影モード：📷 MS SCN

▲/▼/◄/► はカーソルボタンの上下左右を表しています。

１回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に３枚撮影します。露出が異なる３枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット±1EVの場合

1枚目

±0EV

2枚目

−1EV

3枚目

＋1EV

1 ▲（[露出補正]）を数回押し、[オートブラケット]を表示させ、◄/► で露出の補正幅を設定する

- オートブラケット撮影をしない場合は、"0"（OFF）を選んでください。

2 [MENU/SET] を押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- オートブラケットを設定すると、画面に[オートブラケット]が表示されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- 電源を[OFF]（パワーセーブモードを含む）にするとオートブラケットの設定が解除されます。
- オートブラケットを設定すると、[オートレビュー]の設定にかかわらずオートレビューされます。（拡大はされません）セットアップメニューで[オートレビュー]の設定はできません。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- **オートブラケットを設定すると、フラッシュは[発光禁止]になります。**
- **オートブラケットを設定すると、連写は解除されます。**
- シーンモードの[変身]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[星空]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]時は、オートブラケットは使用できません。

撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）

撮影モード：MS SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

あらかじめシーンモードを登録するには（MS：マイシーンモード）

[マイシーンモード]では、よく使うシーンモードを撮影モードのひとつとして登録できます。

1 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

2 ▲/▼で[MS]（マイシーンモード）を選び、[MENU/SET]を押す

- マイシーンモードを登録済みの場合は、[MS]ではなく、登録されているシーンモードのアイコンが表示されます。

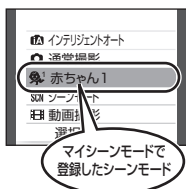
3 ▲/▼/◀/▶でシーンモードを選ぶ

4 [MENU/SET]を押して決定する

- 選択したシーンモードの撮影画面になります。
- 選択したシーンモードはマイシーンモードとして登録され、次回撮影時は撮影モードから選択できるようになります。

■ マイシーンモードを変更する

1 [MODE]を押して上から3段目を選び、[MENU/SET]を押す
2 [MENU/SET]を押してメニュー画面を表示させる
3 ▲で[SCN]を選んでメニューを切り換え、▶を押す
- メニューの切り換えについて、詳しくは20ページをお読みください。

4 ▲/▼/◀/▶でシーンモードを選ぶ
5 [MENU/SET]を押して決定する

■ ℹインフォメーションについて

- シーンモード選択画面で[DISPLAY]を押すと、現在選択されているシーンモードの説明が表示されます。（もう一度押すとシーンモードのメニュー画面に戻ります）

撮影のたびにシーンモードを選ぶには（SCN：シーンモード）

[シーンモード]では、シーンモードを毎回選んで撮影できます。

1 上記の手順2で[シーンモード]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ▲/▼/◀/▶でシーンモードを選び、[MENU/SET]を押して決定する
- 選択したシーンモードの撮影画面になります。

撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）（つづき）

撮影モード：MS SCN

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

お知らせ

- シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET]を押したあとに▶を押して、45ページの手順**3**に戻ります。
- シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。
- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[インテリジェントISO]、[ISO感度]、[カラーモード]の設定はできません。
- [スポーツ]、[夜景&人物]、[夜景]、[キャンドル]、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]以外のシーンモードのシャッタースピードは1/8～1/2000秒になります。

項目	設定・お知らせ
人物 昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ● [ISO感度]は[ISO80]に固定されます。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。
美肌 昼間の屋外で、[人物]より肌の表面を特になめらかに撮影できます。（胸から上を撮りたいときに効果的です）	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ● 背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。 ● 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。 ● [ISO感度]は[ISO80]に固定されます。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。
変身 スリムもしくはグラマラスに撮影することができ、同時に肌をきれいに撮影することができます。	**変身レベル設定** **1　▲/▼で変身のレベルを選び、[MENU/SET]を押す** ● クイックメニュー（P21）でも、設定の変更ができます。 **2　撮影する** ● [記録画素数]と[画像横縦比]は以下のように固定されます。 ・4:3のとき[3M]、3:2のとき[2.5M]、16:9のとき[2M] ● [クオリティ]は自動で[ ]になります。 ● Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 ● [スリム強]または[グラマラス強]に設定時、顔認識が働きにくくなります。 ● 個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。 ● 公序良俗に反する目的やひぼう中傷目的で利用しないでください。 ● 被写体の利益を損なうような利用はしないでください。

項目	設定・お知らせ
自分撮り 自分を撮りたいときに合わせてください。	**撮影のテクニック** ●シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。 ●セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。 ●撮影後は自動的にレビューされます。 ●シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。 ●ピントが合う範囲は約30 cm～約1.2 m(W端時)です。 ●選択すると、ズームは自動的にW端の位置へ移動します。 ●セルフタイマーは[OFF]または[2秒]のみの設定です。[2秒]に設定すると、電源を[OFF]にするかシーンモードや撮影モード、再生モードを切り換えるまで、セルフタイマーの[2秒]設定は保持されます。 ●[手ブレ補正]は[MODE2]に固定されます。(P65) ●[オートフォーカスモード]の初期設定は[]になります。
風景 広がりのある風景を撮影できます。	●**フラッシュは[]になります。** ●ピントが合う範囲は5 m～∞です。
スポーツ スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。	●5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。 ●[インテリジェントISO]が働き、最高ISO感度は[ISO1600]になります。

撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）（つづき）

撮影モード：MS SCN

項目	設定・お知らせ
夜景&人物 人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。([ ]に設定できます)** ● シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● 被写体の人に、撮影中はなるべく動かないように伝えてください。 ● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。 ● ピントが合う範囲は1.2 m ～5 mです。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。
夜景 夜景を鮮やかに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● [手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大8秒になります。三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● **フラッシュは[ ]になります。** ● ピントが合う範囲は5 m～∞です。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
料理 レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。	● ピントが合う範囲は 5 cm(W端時)/50 cm(T端時)～∞です。
パーティー 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。([ ]または[ ]に設定できます)** ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定・お知らせ
キャンドル ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。	**撮影のテクニック** ● フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。 ● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● ピントが合う範囲は 5 cm(W端時)/50 cm(T端時)～∞ です。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約 1 秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。
赤ちゃん1/ **赤ちゃん2** 赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。 [赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P73)で撮影画像に焼き込むことができます。	**誕生日/名前を設定する** 赤ちゃん1 / 月齢/年齢 / 名前 / OFF / ON / 設定 / 選択 決定 **1 ▲/▼で[月齢/年齢]または[名前]を選び、▶を押す** **2 ▲/▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す** **3 誕生日/名前を入力する** 誕生日: ◀/▶:項目(年・月・日)選択、▲/▼:設定、[MENU/SET]:終了 名前: 文字入力の方法については71ページの[タイトル編集]をお読みください。 ● 誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。 ● 誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。 **4 [MENU/SET]を押して終了する** **月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには** 「誕生日/名前を設定する」の手順**2**で[OFF]に設定してください。 ● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/ 年齢や名前をプリントすることができます。 ● 誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。 撮影前に[月齢/年齢]または[名前]を[ON]にしてください。 ● ピントが合う範囲は 5 cm(W端時)/50 cm(T端時)～∞ です。 ● [インテリジェントISO]が働き、最高ISO感度は[ISO1600]になります。 ● 起動した場合に約 5 秒間、月齢/年齢と名前が現在日時とともに画面の左下に表示されます。 ● 月齢/年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。 ● [設定リセット]で誕生日設定と名前設定のリセットができます。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は、[ ]になります。

撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）（つづき）

撮影モード：MS SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>ペット

犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P73）で撮影画像に焼き込むことができます。</td><td>[月齢/年齢]、[名前]については、49ページの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。
● [AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。
● [オートフォーカスモード]の初期設定は、[■]になります。
● その他のお知らせについては、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。</td></tr>
<tr><td>夕焼け

夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。</td><td>● フラッシュは[⊛]になります。
● [ISO感度]は[ISO80]に固定されます。</td></tr>
<tr><td>高感度

薄暗い室内で被写体のブレをおさえて撮影できます。（高感度処理を行い、自動的に[ISO1600]から[ISO6400]の間で変化します）</td><td>記録画素数・画像横縦比設定
1　▲/▼で記録画素数・画像横縦比を選び、[MENU/SET]を押す
● 記録画素数は3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9）からの選択となります。
2　撮影する
● [クオリティ]は自動で[▲]になります。
● Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。
● ピントが合う範囲は 5 cm（W端時）/50 cm（T端時）～∞です。</td></tr>
<tr><td>高速連写

高速連写により、すばやい動きや決定的瞬間を狙うのに便利です。</td><td>記録画素数・画像横縦比設定
1　▲/▼で記録画素数・画像横縦比を選び、[MENU/SET]を押す
● 記録画素数は3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9）からの選択となります。
2　撮影する
● シャッターボタンを全押ししている間、静止画を連続して撮影します。
最高連写速度：約6コマ/秒
連写枚数：約10枚（内蔵メモリー）、約10枚～100枚※（カード）
※最大100枚です。
● 連写速度は、撮影条件によって変化します。
● 連写枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。
● フォーマット直後は連写枚数が増加する場合があります。</td></tr>
</table>

項目	設定・お知らせ
高速連写(つづき)	● **フラッシュは[Ⓢ]になります。** ● [クオリティ]は自動で[▪▲▪]になります。 ● Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ● ピントが合う範囲は 5 cm(W端時)/50 cm(T端時)〜∞です。 ● ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。 ● [ISO感度]は[ISO500]から[ISO800]の間で自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO感度は高めになります。 ● 撮影を繰り返すと、使用条件によっては次の撮影までに時間がかかる場合があります。
フラッシュ連写 フラッシュ発光しながら連写します。暗い場所で連写撮影をしたいときに便利です。	**記録画素数・画像横縦比設定** **1 ▲/▼で記録画素数・画像横縦比を選び、[MENU/SET]を押す** ● 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)からの選択となります。 **2 撮影する** ● シャッターボタンを全押ししている間、静止画を連続して撮影します。 連写枚数: 最大 5 枚 ● [クオリティ]は自動で[▪▲▪]になります。 ● Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ● ピントが合う範囲は 5 cm(W端時)/50 cm(T端時)〜∞です。 ● ピント・ズーム・露出・シャッタースピード・ISO感度・フラッシュ発光量は、1枚目の設定に固定されます。 ● シャッタースピードは1/30〜1/2000秒になります。 ● [インテリジェントISO]が働き、最高ISO感度は [ISO3200]になります。 ● [フラッシュ連写]を使うときは、40 ページのお知らせをお読みください。
星空 星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。	**シャッタースピード設定** シャッタースピードを15秒、30秒、60秒から選択します。 **1 ▲/▼で秒数を選び、[MENU/SET] を押す** ● クイックメニュー(P21)でも、秒数の変更ができます。 **2 撮影する** ● シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。 (画面表示: 15 / 中止) ● 撮影中に[MENU/SET]を押すと、撮影が中止されます。

応用・撮影

撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）（つづき）

撮影モード：MS SCN

項目	設定・お知らせ
星空(つづき)	**撮影のテクニック** ● 15秒、30秒、60秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 **● フラッシュは[⊛]になります。** ● [手ブレ補正]は[OFF]に固定されます。 ● [ISO感度]は[ISO80]に固定されます。
花火 夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。 **● フラッシュは[⊛]になります。** ● 被写体までの距離が10 m以上のときに最適です。 ● シャッタースピードは以下のようになります。 ・手ブレ補正[OFF]設定時：2秒 ・手ブレ補正[AUTO]、[MODE1]または[MODE2]設定時：1/4秒または2秒（シャッタースピードが2秒になるのは、三脚使用時など、ブレの量が少ないとカメラが判断したときのみです） ・露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。 ● AFエリアは表示されません。 ● [ISO感度]は[ISO80]に固定されます。
ビーチ 海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。	● [オートフォーカスモード]の初期設定は[■]になります。 ● ぬれた手で触らないでください。 ● 砂や海水は故障の原因になります。レンズ部や端子部に砂や海水がかからないようにしてください。
雪 スキー場や雪山などの白い雪を白く出すように撮影できます。	—
空撮 飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。	**撮影のテクニック** ● 雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト(濃淡)の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。 **● フラッシュは[⊛]になります。** ● ピントが合う範囲は5 m～∞です。 **● 離着陸時は電源を[OFF]にしてください。** **● ご使用の際は、乗務員の指示に従ってください。** ● 窓への映り込みにお気をつけください。

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

項目	設定・お知らせ
サンドブラスト 砂を吹きつけたようなざらざらとした感じの白黒画像を撮影できます。	**記録画素数・画像横縦比設定** **1 ▲/▼ で記録画素数・画像横縦比を選び、[MENU/SET] を押す** ● 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)からの選択となります。 **2 撮影する** ● 右のような画像を撮影できます。 ● [クオリティ]は自動で[ ]になります。 ● Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ● [ISO感度]は[ISO1600]に固定されます。 ● ピントが合う範囲は5 cm(W端時)/50 cm(T端時)〜∞です。
フォトフレーム 画像にフレームをつけて撮影します。	**使用するフレームの設定** **1 ◀/▶ で使用するフレームを選び、[MENU/SET] を押す** ● 記録画素数は 2M(4:3)に固定されます。 **2 撮影する** ● [オートレビュー]は2秒に固定されます。 ● 画面に表示されるフレームの色と、実際に撮影される画像のフレームの色は異なりますが、故障ではありません。

動画を撮る（▣：動画撮影モード）

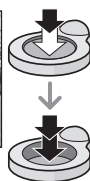
撮影モード：▣

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

1 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

2 ▲/▼で[動画撮影]を選び、[MENU/SET]を押す

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を開始する

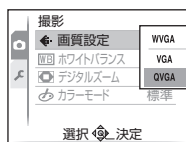
- シャッターボタンを全押ししたあと、すぐに離してください。押し続けると、記録開始時の数秒間、音声が録音されません。
- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。
- ピント・ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定に固定されます。
- 本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。（音声なしで動画を記録することはできません）

4 シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

画質設定を変更する場合

- [画質設定]を[WVGA]または[VGA]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。

1 [MENU/SET]を押す

2 ▲/▼で[画質設定]を選び、▶を押す

3 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

項目	記録画素数	コマ数	画像横縦比
WVGA ※	848×480画素	30コマ/秒	16:9
VGA ※	640×480画素	30コマ/秒	4:3
QVGA	320×240画素	30コマ/秒	

※内蔵メモリーには記録できません。

4 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- **フラッシュは[⚡]になります。**
- 記録可能時間については107ページをお読みください。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画を連続で撮影できるのは、最大 2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。
- 本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため、本機で撮影した動画を、2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で再生することはできません。(2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した動画を、本機で再生することは可能です。)
- 動画撮影モードでは、以下の機能が使えません。
  ・[オートフォーカスモード]の[👤]、[■]、縦位置検出機能、[手ブレ補正]の[AUTO]、[MODE2]、[OFF]
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターの使用をおすすめします。
- AC アダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電や AC アダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。

旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）

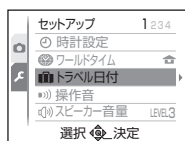
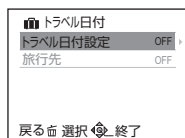
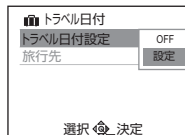
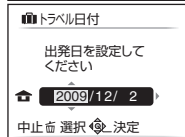
撮影モード：iA ◘ MS SCN ▤

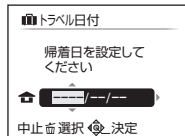
▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

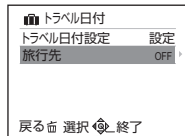
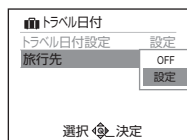
旅行の経過日数を記録する（トラベル日付）

旅行の出発日や旅行先を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）などが記録されます。記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P73）で撮影画像に焼き込むことができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。
- **あらかじめ[時計設定]（P18）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 セットアップメニューから[トラベル日付]を選び、▶を押す（P20）

2 ▲で[トラベル日付設定]を選び、▶を押す

3 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

4 ▲/▼/◀/▶で出発日（年・月・日）を設定し、[MENU/SET]を押す

5 ▲/▼/◀/▶で帰着日（年・月・日）を設定し、[MENU/SET]を押す

- 帰着日を設定しない場合は、バー表示の状態で[MENU/SET]を押してください。

6 ▼で[旅行先]を選び、▶を押す

7 ▼で[設定]を選び、[MENU/SET]を押す

トラベル日付
トラベル日付設定　設定
旅行先　OFF
設定
選択　決定

8 旅行先を入力する

- 文字入力の方法については、71ページの[タイトル編集]をお読みください。

9 [MENU/SET]を2回押して終了する

10 撮影する

- 経過日数は、トラベル日付の設定後や設定した状態で本機の電源を入れたときなどに、約5秒間表示されます。
- トラベル日付を設定すると、画面右下に[ ]が表示されます。

■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順**3**、**7**の画面で[OFF]を選び、[MENU/SET]を2回押してください。また、手順**3**で[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。

お知らせ

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイム(P58)を旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を[OFF]にしても記憶しています。
- トラベル日付を[OFF]に設定すると、出発日、帰着日を設定していても、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を[設定]にしても表示されません。
- 出発日より前は、オレンジ色で－(マイナス)付きで表示され、日付情報は記録されません。
- トラベル日付が白色で－(マイナス)付きで表示される場合は[ホーム]と[旅行先]との間に、日付をまたぐ時差があります。(記録されます)
- [旅行先]で設定したテキストは、撮影後でも[タイトル編集]で変更できます。
- [旅行先]設定時は、シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前は記録されません。
- 動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）（つづき）

撮影モード：[iA][●][MS][SCN][動画]

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

海外旅行先の日時を記録する（ワールドタイム）

旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。
- **あらかじめ［時計設定］(P18)で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 セットアップメニューから［ワールドタイム］を選び、▶を押す

- お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。[MENU/SET]を押し、手順**3**の画面から設定してください。

2 ▼で「ホーム（お住まいの地域）」を選び、[MENU/SET]を押す

3 ◀/▶でお住まいの地域を選んで、[MENU/SET]を押す

- ホームがサマータイム［☼⊙］（夏時間）を採用している場合は、▲を押してください。もう一度押すと元に戻ります。
- ホームでサマータイムを設定しても、現在の日時は進みません。時計設定を1時間進めてください。

4 ▲で［旅行先］を選び、[MENU/SET]で決定する

「旅行先」または「ホーム」の選ばれているほうの時間を表示します。

5 ◀/▶で旅行先のあるエリアを選択し、[MENU/SET]で決定する

- 旅行先がサマータイム［☼⊙］（夏時間）を採用している場合は、▲を押してください。（時計が1時間進みます）もう一度▲を押すと元に戻ります。

6 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

お知らせ
- 旅行から戻ったら、手順**1**、**2**、**3**の操作を行って、設定をホームに戻してください。
- すでにホームを設定している場合は、旅行先のみ変更してお使いください。
- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
- 旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に［✈］が表示されます。

撮影メニューを使う

撮影メニューの設定方法はP20へ

項目	設定・お知らせ
記録画素数 記録画素数を設定します。画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。	使えるモード: iA 📷 MS SCN

画像横縦比:[4:3]のとき

項目	記録画素数
10M (10M)	3648×2736画素
7M (7M EZ)※	3072×2304画素
5M (5M EZ)	2560×1920画素
3M (3M EZ)	2048×1536画素
2M (2M EZ)※	1600×1200画素
0.3M (0.3M EZ)※	640×480画素

画像横縦比:[3:2]のとき

項目	記録画素数
9M (9M)	3648×2432画素
6M (6M EZ)※	3072×2048画素
4.5M (4.5M EZ)※	2560×1712画素
2.5M (2.5M EZ)※	2048×1360画素

画像横縦比:[16:9]のとき

項目	記録画素数
7.5M (7.5M)※	3648×2056画素
5.5M (5.5M EZ)※	3072×1728画素
3.5M (3.5M EZ)※	2560×1440画素
2M (2M EZ)	1920×1080画素

※インテリジェントオートモード時は設定できません。

- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
- デジタル画像は画素という点が集まって作られています。画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコンの画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。

画素が多い
(きめ細かい)

画素が少ない
(粗い)

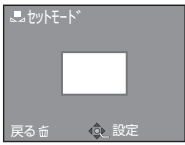
※画像は効果を説明するためのイメージです。

- 画像横縦比を変更したときは、記録画素数をもう一度設定してください。

応用・撮影

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
記録画素数（つづき）	●ズームマクロ設定時またはシーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。 ●被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。 ●記録可能枚数については、106ページをお読みください。
クオリティ 画像を保存するときの圧縮率を設定します。	**使えるモード：** [通常撮影] [MS] [SCN] [ファイン]：ファイン（画質を優先するとき） [スタンダード]：スタンダード（標準画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき） ●記録可能枚数については、106ページをお読みください。
画像横縦比 プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。	**使えるモード：** [通常撮影] [MS] [SCN] [4:3]：4:3テレビの横縦比 [3:2]：一般のフィルムカメラの横縦比 [16:9]：ハイビジョンテレビなどの横縦比 [4:3]設定時　[3:2]設定時　[16:9]設定時 ●プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。（P99）
ISO インテリジェントISO 被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。	**使えるモード：** [通常撮影] [OFF]、[ISOMAX 400]、[ISOMAX 800]、[ISOMAX 1600] ●ISO感度の上限を設定できます。 ●ISO感度を高い数値に設定するほど、被写体ブレをおさえる効果が得られますが、ノイズは増加します。 ●フラッシュで撮影できる範囲については、40ページをお読みください。 ●明るさや被写体の動きの速さによっては、被写体ブレをおさえられない場合があります。 ●動いている被写体が小さいときや動いている被写体が画面の端にあるとき、シャッターボタンを全押しした瞬間に被写体が動き出したときは、動きを検出できないことがあります。 ●ノイズが気になるときは、最高ISO感度を低くするか、[カラーモード]を[ナチュラル]にして撮影することをおすすめします。（P64）

撮影メニューの設定方法はP20へ

項目	設定・お知らせ
ISO感度 光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。	使えるモード: [カメラ] [AUTO]、[80]、[100]、[200]、[400]、[800]、[1600] (下表参照) ●[AUTO]を選ぶと、明るさに応じて最大[ISO400](フラッシュ使用時は[ISO1000])までの範囲で自動設定します。 ●[インテリジェントISO]設定時は、使用できません。([iISO]が表示されます) ●ノイズが気になるときは、ISO感度を低くするか、[カラーモード]を[ナチュラル]にして撮影することをおすすめします。(P64)
ホワイトバランス 太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。	使えるモード: [カメラ][MS][SCN][動画] [AWB]: 自動調整 [☼]: 晴天の屋外での撮影時 [曇]: 曇りの屋外での撮影時 [日陰]: 屋外の晴天下の日陰での撮影時 [白熱灯]: 白熱灯下での撮影時 [手動]: [手動SET]で設定した値を使用 [手動SET]: 手動で設定 ●蛍光灯下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[手動SET]をご使用ください。 **オートホワイトバランスについて** 撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

ISO感度	80 ⇔	1600
撮影場所(おすすめ)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

撮影メニューを使う（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>WB ホワイトバランス（つづき）</td><td>
手動で設定する
1 [SET]を選び、[MENU/SET]を押す
2 白い紙など白いものだけを枠内に写し、[MENU/SET]を押す
セットモード 戻る 設定
●電源を[OFF]にしても設定したホワイトバランスは記憶されます。（シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは[AWB]に戻ります）
●以下のシーンモードでは、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
・[風景] ・[夜景&人物]
・[夜景] ・[料理]
・[パーティー] ・[キャンドル]
・[夕焼け] ・[フラッシュ連写]
・[星空] ・[花火]
・[ビーチ] ・[雪]
・[空撮] ・[サンドブラスト]
</td></tr>
<tr><td>AF
オートフォーカスモード

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを選択できます。</td><td>
使えるモード： MS SCN
[ ]（顔認識）：
人の顔を自動的に検知します。（最大15個）認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。

[ ]（9点）：
最大9点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。

[ ]（1点）：
中央のAFエリア内にピントを合わせます。
●[ ]でAFエリアが複数（最大9個）点灯した場合は、点灯したすべてのAFエリアにピントが合っています。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を[ ]に切り換えてください。
●[ ]に設定している場合は、ピントが合うまでAFエリアは表示されません。
●人物以外の被写体をカメラが誤って顔と認識する場合は、オートフォーカスモードを[ ]以外に設定してください。
●シーンモードの[花火]ではオートフォーカスモードの設定はできません。
●シーンモードの[夜景]、[料理]、[星空]または[空撮]では[ ]に設定できません。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>オートフォーカスモード（つづき）</td><td>[顔認識]について
カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリアが表示されます。
黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。
白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。
●以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[多点]に切り換わります。
・顔が正面を向いていない／傾いている／極端に明るいまたは暗い／サングラスなどで隠れている／小さく写っている
・顔の陰影が少ない　・動きが速い
・被写体が人物以外である　・手ブレしている
・デジタルズーム使用時</td></tr>
<tr><td>連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
撮影後にお気に入りの画像を選んでください。</td><td>使えるモード：iA 通常 MS SCN

		[OFF]	[連写]（通常）	[連写]（フリー）
連写速度		―	2.3コマ／秒※	約1.7コマ／秒
連写枚数	高画質	―	最大3コマ	内蔵メモリー／カードの空き容量による
	標準	―	最大5コマ	

※カードの転送速度に関係なく、連写速度は一定です。
●上記の連写速度は、シャッタースピードが1/60より速く、フラッシュを発光させないときの値です。

●**フリー連写について**
・**途中から連写速度が遅くなります。**遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数、クオリティによって変化します。
・内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。</td></tr>
</table>

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
連写（つづき）	●ピントは1枚目で固定されます。 ●[ ]設定時、1枚目の露出、ホワイトバランスに固定されます。 [ ]設定時、1枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。 ●セルフタイマー使用時の連写設定は、3枚に固定されます。 ●屋内外など明暗差の大きい場所（風景）で動きのある被写体を追いながら撮影した場合、露出が安定するまでに時間がかかる場合があります。このときに連写を行うと、最適な露出にならないことがあります。 ●暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度（コマ/秒）が遅くなる場合があります。 ●連写設定は、電源を[OFF]にしても記憶しています。 ●内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。 **●連写を設定すると、フラッシュは[ ]になります。** **●連写を設定すると、オートブラケットは解除されます。** ●シーンモードの[変身]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[星空]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]では、連写は使えません。
デジタルズーム 光学ズーム、またはEX光学ズームよりも、さらに拡大することができます。	**使えるモード：** [OFF]、[ON] ●詳しくは、33ページをお読みください。 ●ズーム時に手ブレが気になるときは、手ブレ補正を[AUTO]または[MODE1]に設定することをおすすめします。 ●ズームマクロ撮影時は[ON]に固定されます。
カラーモード 画像をくっきりしたり、柔らかくする、またはセピア色にするなど、色の効果を設定します。	**使えるモード：** **[標準]**：　標準的な設定 **[ナチュラル]**：　柔らかい画像 **[ヴィヴィッド]**：くっきりとした画像 **[白黒]**：　白黒画像 **[セピア]**：　セピア色の画像 **[クール]**：　青っぽい画像 **[ウォーム]**：　赤っぽい画像 ●暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になる場合は[ナチュラル]に設定してください。 ●インテリジェントオートモード時は[ナチュラル]、[ヴィヴィッド]、[クール]または[ウォーム]の設定はできません。また、動画撮影モード時は[ナチュラル]または[ヴィヴィッド]の設定はできません。 ●各撮影モードで、それぞれ別に設定することができます。

撮影メニューの設定方法はP20へ

項目	設定・お知らせ
手ブレ補正 撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。	**使えるモード:** MS SCN [OFF] [AUTO]: 撮影状況に応じて自動的に最適な手ブレ補正をします。 [MODE1]: 撮影モード時、常に手ブレを補正します。 [MODE2]: シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。 ● 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。 ・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき ・デジタルズーム領域 ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。 ● シーンモードの[自分撮り]では[MODE2]、シーンモードの[星空]では[OFF]に固定されます。 ● 動画撮影モード時は、[MODE1]に固定されます。
AF✳AF補助光 撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。	**使えるモード:** MS SCN [OFF]: 点灯しません。 [ON]: 暗い場所での撮影時、シャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。 (大きなAFエリアが表示されます) ● 補助光の有効距離は1.5 mです。 ● 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。 ● シーンモードの [自分撮り]、[風景]、[夜景]、[夕焼け]、[花火]、[空撮]では、AF補助光は[OFF]に固定されます。 ● 動画撮影モード時は、[ON]に固定されます。 AF補助光ランプ
時計設定 年・月・日・時刻を設定、または変更することができます。	セットアップメニューの[時計設定](P22)と同じ機能です。

画像を順番に再生する（スライドショー）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

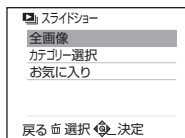
撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、カテゴリーで分類した画像や、お気に入りに設定した画像のみをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

通常再生
スライドショー
カテゴリー再生
★ お気に入り再生
選択 決定

2 ▲/▼で[スライドショー]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼で項目を選び、[MENU/SET]を押す

- [お気に入り]は再生メニューの[お気に入り](P77)が[ON]で設定済みの画像があるときのみ、選択できます。

手順3で[全画像]、[お気に入り]選択時

4 ▲で[開始]を選び、[MENU/SET]を押す

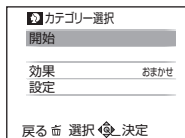
5 ▼を押してスライドショーを終了する

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

手順3で[カテゴリー選択]選択時

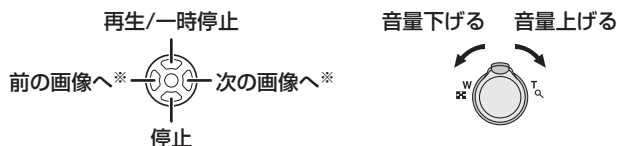
4 ▲/▼/◀/▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押す

- カテゴリーの詳細については68ページをお読みください。

5 ▲で[開始]を選び、[MENU/SET]を押す

6 ▼を押してスライドショーを終了する

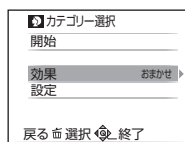
- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

■ スライドショー中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

※一時停止中のみ操作できます。

- []を押すと、メニュー画面に戻ります。

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

[効果]

画像切り換え時の画面効果、音楽効果を選ぶことができます。

[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]、[おまかせ]

- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにおすすめの効果で再生します。

[設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
[再生間隔]	1 秒、2 秒、3 秒、5 秒
[リピート]	ON、OFF
[音楽]	ON、OFF

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。
- [音楽] は、[効果]を[OFF]に設定していると、選択できません。

お知らせ

- スライドショーでは動画再生できません。
- 音楽効果を追加することはできません。

画像を選んで再生する（カテゴリー再生/お気に入り再生）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

カテゴリー再生

シーンモードなどのカテゴリー（人物･風景･夜景など）を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

2 ▲/▼で[カテゴリー再生]を選び、[MENU/SET]を押す

3 ▲/▼/◀/▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押す

- 画像が見つかったカテゴリーのアイコンが青になります。
- 画像ファイルが多い場合は、検索に時間がかかることがあります。
- 検索中に[🗑]を押すと、途中で検索が中止されます。
- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
(人物)	人物、i人物、美肌、変身、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん
(風景)	風景、i風景、夕焼け、空撮
(夜景)	夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、星空
(イベント)	スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮
(赤ちゃん)	赤ちゃん

カテゴリー	シーンモードなどの撮影情報
(ペット)	ペット
(料理)	料理
(トラベル)	トラベル日付
(動画)	動画

お気に入り再生

[お気に入り]設定(P77)した画像を再生することができます。([お気に入り]が[ON]で設定済みの画像があるときのみ)

1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

2 ▲/▼で[お気に入り再生]を選び、[MENU/SET]を押す

お知らせ

- 再生メニューは[回転表示]、[プリント設定]、[プロテクト]のみ使えます。

動画を見る

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

◀/▶ で動画アイコン（[QVGA]など）が付いた画像を選び、▲ を押して再生する

- 再生を開始すると、画面右上に再生経過時間が表示されます。
  例）1時間2分30秒のとき：1h2m30s

■ 動画再生中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

再生/一時停止

早戻し/
コマ戻し※

早送り/
コマ送り※

停止

※一時停止中のみ操作できます。

音量下げる　音量上げる

お知らせ

- スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの[スピーカー音量]（P22）をお読みください。
- 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」をご使用ください。
- パソコンや他機で記録された QuickTime Motion JPEG ファイルは本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が粗くなったり、再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

再生メニューを使う

再生モード：[▶]

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ]または[トリミング]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

[CAL] カレンダー検索

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 再生メニューから[カレンダー検索]を選ぶ

- ズームレバーを[■](W)側に数回回しても、カレンダー検索表示画面にできます。(P34)

2 ▲/▼/◀/▶で再生する日付を選ぶ

▲/▼：月を選択

◀/▶：日を選択

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。

3 [MENU/SET]を押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

- [🗑]を押すと、カレンダー検索表示画面に戻ります。

4 ▲/▼/◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

- 選択されていた画像が表示されます。

お知らせ

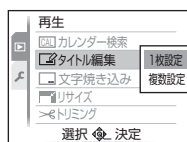
- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2009年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生メニューの設定方法はP20へ

タイトル編集

撮影画像に文字(コメント)を登録しておくことができます。登録後、[文字焼き込み](P73)で撮影画像に焼き込むことができます。(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)
シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]で設定した名前や[トラベル日付]の[旅行先]もタイトルとして登録されています。

1 再生メニューから[タイトル編集]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでにタイトルが登録されている画像には[ ]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISPLAY]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

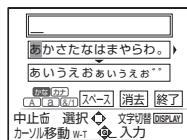
◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼/◀/▶で文字を選び、[MENU/SET]で入力する

- 文字入力例は、次のページをお読みください。
- [DISPLAY]を押すと、かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、&/1(記号/数字)に文字を切り替えることができます。
- 入力位置のカーソルは、ズームレバーで左右に移動できます。
- 空白を入れたいときは[スペース]、入力した文字を消去したいときは[消去]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押してください。
- 文字入力の途中で編集を中止したい場合、[ ]を押してください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - かな/カナ: 最大15文字
  - A/a/&/1※: 最大30文字

※[＼]、[「]、[」]、[・]、[—]、[歳]、[カ]、[月]、[日]は最大15文字です。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

5 ▲/▼/◀/▶ で[終了]にカーソルを合わせ、[MENU/SET]を押して入力を終了する

6 [🗑]を押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。
- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ タイトルを消去する

[1枚設定]選択時
1. 手順4ですべての文字を消去して[終了]を選び、[MENU/SET]を押す
2. [🗑]を押す
3. [MENU/SET]を押してメニューを終了する

[複数設定]選択時
1. 手順4で文字を入力せずに[終了]を選び、[MENU/SET]を押す
2. [MENU/SET]を押してメニューを終了する

文字入力例
「パリ」と入力する場合：
❶ [DISPLAY]を押し、カナに切り替える
❷ ◀/▶ で「ハ」にカーソルを合わせる
❸ ▼で下の段に移動し、◀/▶ で「ハ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押す
❹ ◀/▶ で「゜」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押し、「パ」にする
❺ ▲を押して上の段に戻り、◀/▶ で「ラ」にカーソルを合わせる
❻ ▼で下の段に移動し、◀/▶ で「リ」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET]を押す

お知らせ

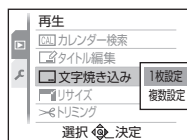
- 登録した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前や[トラベル日付]の旅行先も、手順**4**以降の操作で登録できます。
- シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前や[トラベル日付]の旅行先と[タイトル編集]を同時に登録することはできません。
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字（コメント）をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 動画、プロテクトされた画像、他機で撮影された画像はタイトル編集できません。

再生メニューの設定方法はP20へ

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、月齢 / 年齢、トラベル日付、タイトルを焼き込むことができます。Lサイズでプリントする場合に適しています。(記録画素数が[3M]より大きい画像はリサイズされます)

1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に[]が表示されます。

[複数設定]選択時
[DISPLAY]を押して設定(繰り返す)し、[MENU/SET]を押して決定する

- もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼/◀/▶で[撮影日時]、[月齢/年齢]、[トラベル日付]または[タイトル]を選び、[MENU/SET]を押してそれぞれの項目を設定する

[撮影日時] 日付:年月日を焼き込みます。 日時:年月日時分を焼き込みます。	**[トラベル日付]** [ON]に設定すると、トラベル日付を焼き込みます。
[月齢/年齢](P49) [ON]に設定すると、月齢/年齢を焼き込みます。	**[タイトル]** シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定や[トラベル日付]の旅行先設定や[タイトル編集]で文字が登録された画像に文字を焼き込みます。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：[再生]

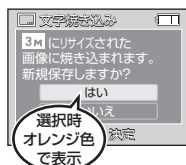
▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

5 [MENU/SET]を押す

- 記録画素数が[3M]より大きい画像に文字焼き込みを行う場合は、以下のように記録画素数が小さくなります。
  - ・10M/7M/5M →3M（4:3）
  - ・9M/6M/4.5M →2.5M（3:2）
  - ・7.5M/5.5M/3.5M →2M（16:9）
- 画像は少し粗くなります。

6 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 記録画素数が[3M]以下で撮影された画像の場合はリサイズされませんので、「新規保存しますか？」のメッセージだけが表示されます。

（例）

7 [🗑]を押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

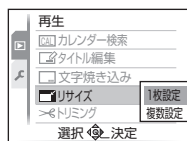
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- [0.3M]の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・動画
  - ・時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
  - ・文字焼き込みされた画像
  - ・他機で撮影された画像

再生メニューの設定方法はP20へ

リサイズ　画像サイズ(画素数)を小さくする

画像をEメールに添付したりホームページに使用したりする場合は、[0.3M]にリサイズすることをおすすめします。(各画像横縦比の最低画素数に設定している画像は、それ以上小さくできません)

1 再生メニューから[リサイズ]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像、サイズを選ぶ

[1枚設定]選択時

1 ◄/► で画像を選び、[MENU/SET]を押す

2 ◄/► でサイズ※を選び、[MENU/SET]を押す

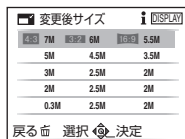
※リサイズできるサイズのみ表示されます。

[1枚設定]

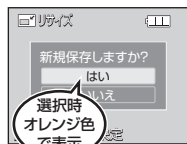
[複数設定]選択時

1 ▲/▼でサイズを選び、[MENU/SET]を押す
- [DISPLAY]を押すと、リサイズの説明を表示します。

2 ▲/▼/◄/► で画像を選び、[DISPLAY]を押す
- この手順を繰り返し、[MENU/SET]を押して決定します。

[複数設定]

4 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

5 [ ]を押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。
- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- リサイズを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。
- 動画または文字焼き込みされた画像はリサイズできません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

✂トリミング

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから[トリミング]を選ぶ

2 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

3 ズームレバーと▲/▼/◀/▶で切り抜く部分を選ぶ

ズームレバー(T)：拡大
ズームレバー(W)：縮小

▲/▼/◀/▶：移動

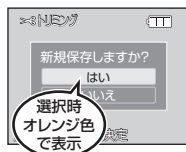
縮小　拡大

位置を移動

4 [MENU/SET]を押す

5 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

6 [⊡]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

お知らせ

- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。
- 動画または文字焼き込みされた画像はトリミングできません。

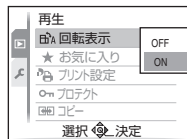
再生メニューの設定方法はP20へ

回転表示

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させることができます。

1 再生メニューから[回転表示]を選ぶ

2 ▼で[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

- [OFF]に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については、34ページをお読みください。

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

お知らせ

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです]
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。
- マルチ再生(P34)またはカレンダー検索(P70)時は、回転表示されません。

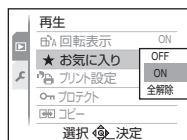
★お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。

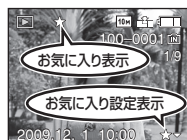
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([★以外全消去])

1 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

2 ▼で[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

- [OFF]に設定するとお気に入り設定できません。設定済み画像の表示[★]も表示されません。

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

4 ◀/▶で画像を選び、▼で設定する

- この手順を繰り返します。
- もう一度▼を押すと解除されます。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

■ [お気に入り] 設定を全解除する

1 手順2で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す

2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

● 設定済みの画像が1枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

お知らせ

● 999枚まで設定できます。

● お店にプリントを依頼するときに、[★以外全消去](P36)の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。

● 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。

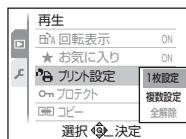
● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、お気に入りの画像の設定や確認、解除をすることができます。

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー(P81)してから[プリント設定]の設定をしてください。

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]を押す

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 ▲/▼でプリント枚数を設定し、[MENU/SET]で決定する

● [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。(一括設定することはできません)

5 [㎜]を押してメニュー画面に戻る

● [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■ [プリント設定]の設定を全解除する

1 手順2で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
2 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
3 [MENU/SET]を押してメニューを終了する

● [プリント設定]で設定された画像が1枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY]を押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

● お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることをお店で指定してください。
● 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
● 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

お知らせ

● プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
● PictBridge対応のプリンターでは、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
● 他機で設定した[プリント設定]の設定は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
● DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。

再生メニューを使う（つづき）

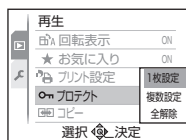
再生モード：▶

▲/▼/◀/▶はカーソルボタンの上下左右を表しています。

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 ▲/▼で[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

3 画像を選び、[MENU/SET]で設定する

[複数設定]選択時
- この手順を繰り返します。
- もう一度[MENU/SET]を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶で選びます。

[複数設定]

プロテクト
プロテクト表示
終了
選択 設定/解除

▲/▼/◀/▶で選びます。

4 [🗑]を押してメニュー画面に戻る
- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。

■[プロテクト]設定を全解除する

1. 手順2で[全解除]を選び、[MENU/SET]を押す
2. ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
3. [MENU/SET]を押してメニューを終了する

- 全解除中に[MENU/SET]を押すと、途中で全解除が中止されます。

お知らせ

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

再生メニューの設定方法はP20へ

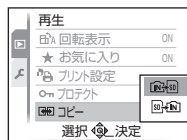
コピー

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

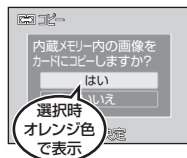
1 再生メニューから[コピー]を選ぶ

2 ▲/▼で画像データのコピー方向を選び、[MENU/SET]を押す

[IN→SD]: 内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。→手順**4**へ

[SD→IN]: カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。→手順**3**へ

3 ◀/▶で画像を選び、[MENU/SET]を押す

4 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 内蔵メモリーからカードへのコピー中に[MENU/SET]を押すと、途中でコピーが中止されます。
- コピー中は電源を[OFF]にしないでください。

5 [削除]を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET]を押してメニューを終了します。
- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、すべての画像をコピーすると、自動的に再生画面に戻ります。

応用・再生

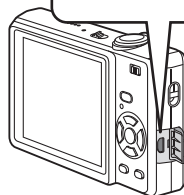
お知らせ

- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、カードの空き容量が少ないと途中までしか画像データをコピーできません。内蔵メモリー(約50 MB)より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
- [IN→SD]時、コピーする画像と同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [SD→IN]時は、同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。(P93)
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した画像のみコピーされます。
  (当社製デジタルカメラで撮影した画像でも、パソコンなどで編集された画像はコピーできない場合があります)
- プリント設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。

パソコンと接続する

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

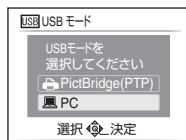
本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと便利です。
- CD-ROM(付属)のソフトウェアやインストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続編取扱説明書」**および**「付属ソフトについてのお知らせ」**をお読みください。

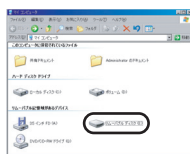
準備: 本機とパソコンの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。
Windows®98/98SEをご使用の方は、USB ドライバーのインストールを行っておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売: DMW-AC5)およびDCカプラー(別売: DMW-DCC4)を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」(P83)をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊される恐れがあります。

1 USB接続ケーブル(付属)を本機とパソコンに挿入する

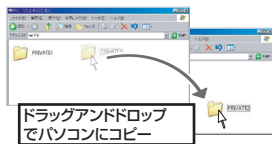
- **付属の USB ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。**

2 ▲/▼ で [PC] を選び、[MENU/SET] を押す

- セットアップメニューで[USBモード](P25)を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPCと接続します。接続のたびに設定する必要がないので、便利です。
- [USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。
[キャンセル](中止)を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

3 「マイコンピュータ」にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

- Macintoshの場合は、デスクトップ上にドライブが表示されます。(「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます)

4 「DCIM」フォルダーをダブルクリックする

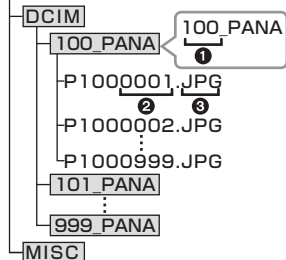
5 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップする

ドラッグアンドドロップでパソコンにコピー

■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

- パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
  アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

お知らせ

- ACアダプター接続時は、本機を立てておくことができません。置いて作業をする場合は、柔らかい布の上に置くことをおすすめします。
- 本機の電源を切ってからACアダプター(別売)を抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊される恐れがあります。

■ 内蔵メモリー/カードの中をパソコンで見る(フォルダー構造)

❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG：画像
MOV：動画
MISC：　DPOFプリント
お気に入り

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
- セットアップメニューの[番号リセット](P25)実行後。
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合。
  (他社のカメラで撮影した場合など)
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合。

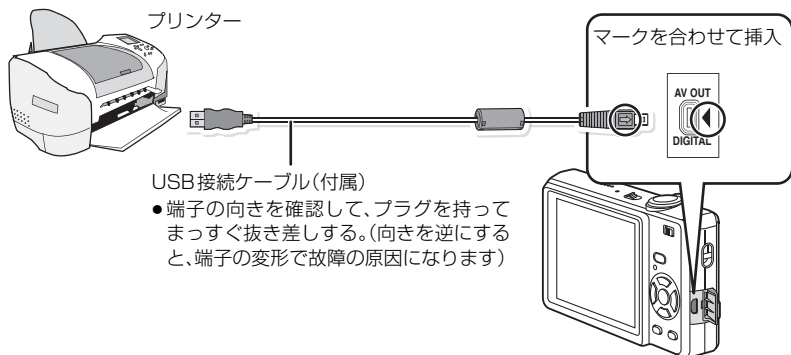
■ PTPモードで接続する
(Windows® XP/Windows Vista®/Mac OS Xのみ)

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。
カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。

プリントする

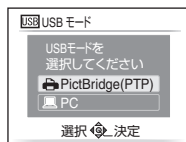
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています。

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC4)を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

1 USB接続ケーブル(付属)を本機とプリンターに挿入する

- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン[ ]が表示されます。[ ]表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。

2 ▲/▼で[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]を押す

お知らせ

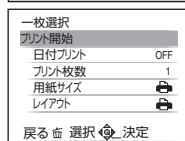
- ACアダプター接続時は、本機を立てておくことができません。置いて作業をする場合は、柔らかい布の上に置くことをおすすめします。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 本機の電源を切ってからACアダプターを抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 接続中は内蔵メモリー/カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度USB接続ケーブルを抜き、カードを入れて(または取り出して)から接続し直してください。

画像を選んで1枚ずつプリントする

1 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

● メッセージは約2秒後に消えます。

2 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] を押す

● プリント開始前に設定できる項目については86ページをお読みください。
● 途中でプリントを中止するには[MENU/SET]を押してください。
● プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数の画像を選んでプリントする

1 ▲ を押す

2 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

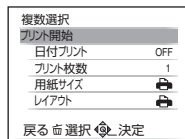
● プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。

PictBridge
複数選択
全画像
プリント設定(DPOF)
お気に入り
戻る 選択 決定

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[DISPLAY]を押すとプリントする画像に [] が表示されます。(もう一度[DISPLAY]を押すと設定が解除されます) ● 選択が終了したら[MENU/SET]を押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定(DPOF)	[プリント設定]で設定(P78)された画像のみをプリントします。
お気に入り※	[お気に入り]設定(P77)された画像のみをプリントします。

※[お気に入り]が[ON]で、設定済みの画像があるときのみ(P77)

3 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] を押す

● プリント開始前に設定できる項目については86ページをお読みください。
● 途中でプリントを中止するには[MENU/SET]を押してください。
● プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

プリントする（つづき）

プリントの各種設定

「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖶]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定（DPOF）]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

日付プリント

項目	設定内容
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- 日付プリントの設定は、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。

プリント枚数

プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

用紙サイズ

項目	設定内容
🖶	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

項目	設定内容
	プリンターの設定が優先されます。
	1面ふちなし印刷
	1面ふちあり印刷

項目	設定内容
	2面印刷
	4面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

お知らせ

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に[DISPLAY]を押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。(シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]や[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]または[タイトル編集]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

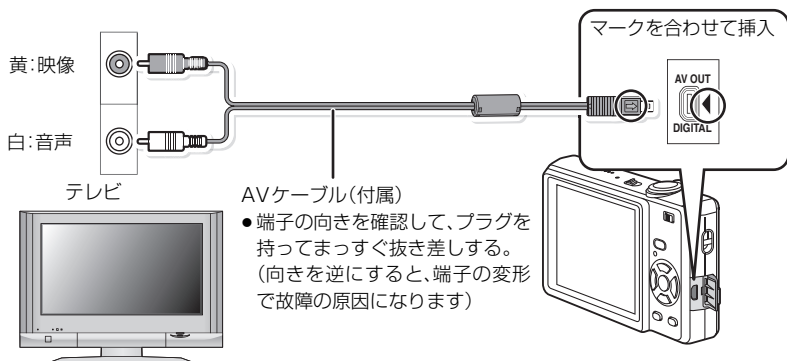
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

テレビで見る

再生モード：▶

AV ケーブル（付属）を使って見る

準備：[TV画面タイプ]（P26）を設定する。
本機の電源を[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する

2 本機の[AV OUT]端子にAVケーブルを確実に接続する

3 テレビの電源を入れ、外部入力にする

4 本機の電源を[ON]にする

お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。

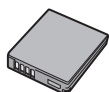
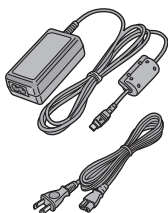
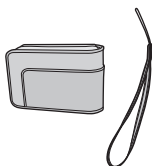
SDカードスロット付きテレビで見る

SDカードスロット付きテレビに撮影したSDメモリーカードを入れて、静止画を再生することができます。

お知らせ

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 動画を再生することはできません。動画を再生したい場合は、AVケーブル（付属）を使用し、本機をテレビに接続してください。
- SDHC カードは SDHC カードに対応しているテレビでなければ再生できません。
- マルチメディアカードは再生できないことがあります。

別売品のご紹介

品名: バッテリーパック **品番:** DMW-BCF10	
品名: DCカプラー※ **品番:** DMW-DCC4	
品名: ACアダプター※ **品番:** DMW-AC5	
※ **DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。** 単独では使用できません。	
品名: ソフトケース **品番:** DMW-CS5	
品名: 本革ストラップ **品番:** DMW-NSTX1	

品名: SDメモリーカード SDHCメモリーカード	

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
Pana Sense
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

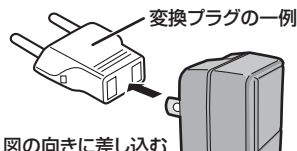
海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付けかた

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

■ 海外のテレビで画像を見る

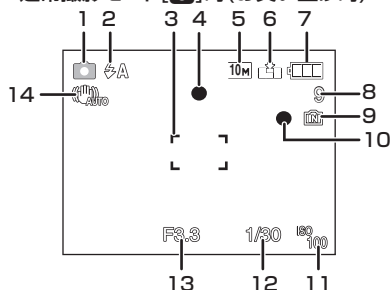
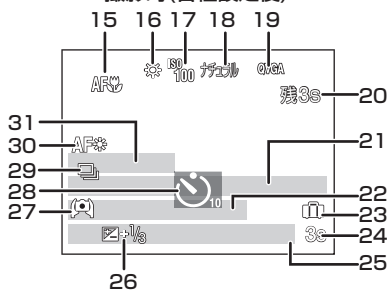
セットアップメニューの[ビデオ出力]で[NTSC]または[PAL]に設定してください。

■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニターの表示

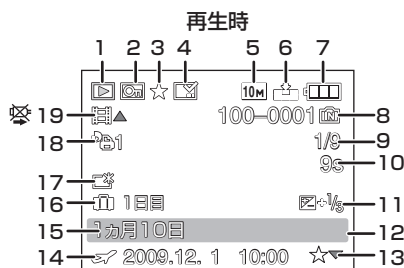
液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

通常撮影モード[カメラ]時(お買い上げ時)

撮影時(各種設定後)

■ 撮影時

1 撮影モード
2 フラッシュモード(P38)
3 AF エリア(P32)
4 フォーカス(P32)
5 記録画素数(P59)
6 クオリティ(P60)
7 バッテリー残量(P14)
8 記録可能枚数(P106)
9 内蔵メモリー(P17)
カード(P17):(記録時のみ表示)
10 記録動作
11 ISO感度(P61)
12 シャッタースピード(P32)
13 絞り値(P32)
14 手ブレ補正(P65)
手ブレ警告(P32):
15 AFマクロ撮影(P41)
ズームマクロ撮影(P41)
16 ホワイトバランス(P61)
17 ISO感度(P61)
最高ISO感度(P60)
18 カラーモード(P64)
19 画質設定(P54)
20 記録可能時間(P54):残XXhXXmXXs
21 名前※1(P49)
22 月齢/年齢※1(P49)
旅行先※2(P56)
23 トラベル日付(P56)
24 記録経過時間(P54)
インテリジェントISO(P60):
25 現在日時/旅行先設定(P58)※2:
ズーム/EX光学ズーム(P33)
デジタルズーム(P33、64):
EZ W T 1X
26 露出補正(P43)
27 ハイアングルモード(P23)
パワーLCDモード(P23):
オートパワーLCDモード(P23):
28 セルフタイマーモード(P42)
29 連写(P63)
オートブラケット(P44):
音声記録(P54):
30 AF補助光(P65)
31 トラベル経過日数(P56)

※1 シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]や[ペット]で起動した場合に約5秒間表示されます。

※2 起動時/時計設定後/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

液晶モニターの表示（つづき）

■ **再生時**

1 再生モード(P34)
2 プロテクト(P80)
3 お気に入り表示(P77)
4 文字焼き込み済み表示(P73)
5 記録画素数(P59)
画質設定(P54)
6 クオリティ(P60)
7 バッテリー残量(P14)
8 フォルダー・ファイル番号(P83)
内蔵メモリー(P17)
再生経過時間(P69)：XXhXXmXXs
9 画像番号/トータル枚数
10 動画記録時間(P69)：XXhXXmXXs
11 露出補正(P43)
12 撮影情報
13 お気に入り設定(P77)
14 撮影日時/旅行先設定(P56、P58)
名前(P49)
タイトル(P71)
15 月齢/年齢(P49)
16 トラベル経過日数(P56)
17 パワーLCDモード(P23)
18 プリント枚数(P78)
19 動画再生(P69)
ケーブル切断禁止アイコン(P84)

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
このメモリーカードはロックされています	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。(P17)
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P80)消去をしてください。
消去できない画像があります/この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P26)してください。
設定枚数をこえました	[複数消去](P36)、[お気に入り](P77)、[タイトル編集](P71)、[文字焼き込み](P73)、[リサイズ](P75)の複数設定時に一度に設定できる枚数を超えています。 設定枚数を減らしてから、もう一度操作を行ってください。 お気に入り設定が999枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル編集]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ● コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合(カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ) ● DCF規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか?	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。本機でフォーマット(P26)し直してください。 データは消去されます。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか?	本機では認識できないカードです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P26)し直してください。
電源を入れ直してください/システムエラー	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です	本機に対応したカードをお使いください。(P17) 4 GB以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。

メッセージ表示（つづき）

メッセージ	実行していただきたいこと
メモリーカードエラー カードを確認してください	●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
リードエラー/ライトエラー カードを確認してください	●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源を[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を[ON]にして記録または読み込みしてください。 ●カードが破壊されている可能性があります。 ●別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	[画質設定]を[WVGA]または[VGA]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 「10MB/s」以上のカードを使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P26)することをおすすめします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。(P83) パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P26)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P25)
4:3TV用で出力します/ 16:9TV用で出力します	●本機にAVケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU/SET]を押してください。 ●[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P26) ●USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P82、84)
プリンタービジー プリンターを確認してください	プリンター側が印刷できない状態です。 プリンターを確認してください。
バッテリー残量が不足しています	電池残量が少なくなっています。充電してください。
このバッテリーは使えません	●本機では認識できないバッテリーです。パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●バッテリーの端子が汚れているため、認識できません。端子部のごみなどを取り除いてください。

Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法（P95〜100）をお試しください。

それでも解決できない場合は、**撮影時にセットアップメニューの［設定リセット］（P25）を行うと症状が改善する場合があります。**

■ バッテリー、電源について

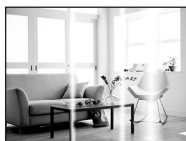
Q（質問）	A（回答）
電源を［ON］にしても動作しない。	●バッテリーが正しい向きに入っていません。（P15） ●バッテリーが消耗しています。
電源を［ON］にしているのに、液晶モニターが消灯している。	●［エコモード］の［自動液晶OFF］（P24）が働いていませんか？ →シャッターボタンを半押しして、解除してください。 ●バッテリーが消耗しています。
電源を［ON］にしてもすぐに切れる。	●バッテリーが消耗しています。 ●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 →［エコモード］（P24）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
充電［CHARGE］ランプが点滅する。	●バッテリーが高温、あるいは低温になりすぎていませんか？その場合、充電時間が通常よりも長くなるか、充電が完了しない場合もあります。 ●チャージャーやバッテリーの端子部が汚れていませんか？ →乾いた布でふき取ってください。

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	●撮影/再生切換スイッチは［📷］に設定されていますか？（P27） ●内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ →不要な画像を消去して容量を増やしてください。（P36）
撮影した画像が白っぽい。	●レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 →汚れたときは、電源を入れ、レンズ鏡筒（P12）を出した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
撮影した画像の周囲が暗くなる。	●W端付近で至近距離のフラッシュ撮影した画像ではありませんか？ →少しズームしてから撮影してください。（P33）
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→露出が正しく補正されているか確認してください。（P43）
1回の撮影で、2〜3枚の画像が撮れるときがある。	→オートブラケット（P44）、シーンモードの［高速連写］（P50）、［フラッシュ連写］（P51）または撮影メニューの［連写］（P63）を［OFF］に設定してください。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 撮影について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
ピントが合わない。	●撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 →被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ●ピントが合う範囲から外れています。（P31） ●手ブレや被写体ブレしています。（P32）
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	→暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。（P28） →遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー（P42）を使って撮影してください。
オートブラケット撮影ができない。	●記録可能枚数が2枚以下ではありませんか？
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	●ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？（お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） →ISO感度を低くしてください。（P61） →[カラーモード]を[ナチュラル]に設定してください。（P64） →明るい場所で撮影してください。 ●シーンモードの[高感度]または[高速連写]に設定していませんか？高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	●蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
撮影時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじ（スミア）が出る。	●CCDの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 動画撮影では記録されますが、静止画像には記録されません。 ●太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。
動画撮影が途中で止まる。	●カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 →[画質設定]を[WVGA]または[VGA]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 →「10MB/s」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット（P26）することをおすすめします。 ●マルチメディアカードを使用していませんか？本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。

■ 液晶モニターについて

Q(質問)	A(回答)
電源[ON]中に、液晶モニターが消える。	●[エコモード]の[自動液晶OFF](P24)では、液晶モニターが消灯し、動作表示ランプが点灯します。[ただし、ACアダプター(別売)使用時を除く] バッテリーの残量が少ないと、フラッシュの充電に時間がかかり、液晶モニターの消灯時間が長くなる場合があります。
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	●この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ●ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	●電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	→液晶モニターの明るさを正しく調整してください。(P22) ●[パワーLCD]または[ハイアングル]になっていませんか？(P23)
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	●これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	●暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

■ フラッシュについて

Q(質問)	A(回答)
フラッシュが発光しない。	●[(⚡)]に設定していませんか？ →フラッシュモードを変更してください。(P38) ●オートブラケット(P44)または撮影メニューの[連写](P63)を設定しているときは、フラッシュは使用できません。
フラッシュが複数回発光する。	●赤目軽減(P38)にしている場合は、2回発光します。 ●シーンモードの[フラッシュ連写](P51)になっていませんか？

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	●[回転表示](P77)を[ON]に設定しています。
再生できない。	●撮影/再生切換スイッチは[▶]に設定されていますか？(P34) ●内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ →カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ●パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。
撮影した画像が表示されない。	●[カテゴリー再生]または[お気に入り再生]になっていませんか？ →[通常再生]に設定してください。(P34)
フォルダー・ファイル番号が[－]で表示されたり、画面が黒くなる。	●規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ●撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？ →このような画像を消去するには、フォーマット(P26)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください)
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	●本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P18) ●パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	●室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	●フラッシュが赤目軽減([⚡A👁])、[⚡👁]、[⚡S👁])のとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。 →フラッシュモードを[⚡A]、[⚡]または[⊘]にして撮影することをおすすめします。
画面に「サムネイル表示」と表示される。	●他機で撮影された静止画ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
撮影した動画の音声が途切れる。	●動画撮影時、本機は絞りを自動的に調整します。そのときに記録された音声が途切れることがありますが、異常ではありません。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q(質問)	A(回答)
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	●正しく接続されていますか？ →テレビの入力切換を外部入力にしてください。 →本機の[ビデオ出力]を[NTSC]に設定してください。(P25)
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	●テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	●カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ →AVケーブル(付属)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P88)
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→本機の[TV画面タイプ]を確認してください。(P26)
パソコンに接続して画像を転送できない。	●正しく接続されていますか？ ●パソコンが本機を正常に認識していますか？ →本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P25、82)
パソコンにカードが認識されない。 (内蔵メモリーになっている)	→USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	●PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 →本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P25、84)
プリントすると、画像の端が切れる。	→トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください) →お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ その他

Q(質問)	A(回答)
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P65)が赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	● 撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？(P65) ● 明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	● ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能·品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	● ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	● 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P18)時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0　0:00]の日付が記録されます。
ズームを使って撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	● 倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。
ズームの動きが一瞬止まる。	● EX光学ズーム時、W端付近ではズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ズームが最大倍率にならない。	● ズームマクロ(P41)に設定していませんか？ ズームマクロ撮影時は最大3倍までのデジタルズームになります。
ファイル番号が連続して記録されない。	● 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。(P83)
ファイル番号がさかのぼって記録される。	● 電源を[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー·ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源を[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
月齢/年齢が正しく表示されない。	● 時計設定(P18)または誕生日設定(P49)を確認してください。
レンズ鏡筒が収納される。	● 撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
放置していたら、突然デモが表示される。	● これは本機の特長を紹介する自動デモです。ボタンを押すと、元の画面に戻ることができます。

使用上のお願い

本機について

本機を落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力をかけない

- 強い衝撃が加わると、レンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障の原因になります。
- ハンドストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますのでお気をつけください。
- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター（別売：DMW-AC5）、DCカプラー（別売：DMW-DCC4）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 液晶モニターが汚れたときは、市販のブロワーブラシでほこりやごみを吹き払ってください。
汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネふきなどで軽くこすってください。

使用上のお願い（つづき）

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99％以上の高精度管理をしておりますが、0.01％以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

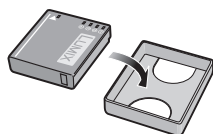
バッテリーについて

**本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。**

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーは、バッテリーケース（付属）に収納してください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P90）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

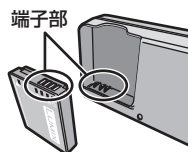
充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

チャージャーについて

- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

使用上のお願い（つづき）

個人情報について

赤ちゃんモードで名前または誕生日を設定した場合は、撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P25)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P81)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(P26)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、103ページの「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  (推奨温度:15 ℃～25 ℃、推奨湿度:40%～60%です)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源が[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをおすすめします。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。
- DCカプラーおよびACアダプター接続時、三脚/一脚の種類によっては取り付けることができないものがあります。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDHCロゴは商標です。
- Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

記録可能枚数・記録可能時間

- 記録可能枚数･時間は目安です。(撮影条件、カードの種類によって変化します)
- 被写体により記録可能枚数･時間は変動します。

■ 記録可能枚数(静止画:枚)

画像横縦比		4:3									
記録画素数		10M		7M (EZ)		5M (EZ)		3M (EZ)		2M (EZ)	
クオリティ		▲▲	▲	▲▲	▲	▲▲	▲	▲▲	▲	▲▲	▲
内蔵メモリー (約50 MB)		9	19	13	28	20	40	31	62	51	96
カード	32 MB	5	11	7	16	11	23	18	36	29	56
	64 MB	11	24	16	34	24	48	38	75	61	115
	128 MB	24	49	35	69	50	99	78	150	125	230
	256 MB	48	97	68	135	98	190	150	290	240	460
	512 MB	97	190	135	270	195	380	300	590	480	910
	1 GB	195	380	270	540	390	770	600	1180	970	1830
	2 GB	390	770	550	1090	790	1530	1220	2360	1920	3610
	4 GB	770	1520	1090	2150	1560	3010	2410	4640	3770	7090
	6 GB	1180	2320	1660	3270	2380	4580	3660	7050	5730	10790
	8 GB	1580	3100	2230	4380	3180	6130	4910	9440	7670	14440
	12 GB	2380	4680	3360	6610	4810	9260	7400	14240	11570	21790
	16 GB	3180	6250	4490	8820	6410	12350	9880	19000	15440	29070
	32 GB	6390	12540	9010	17700	12870	24780	19820	38120	30970	58310

画像横縦比		16:9							
記録画素数		7.5M		5.5M (EZ)		3.5M (EZ)		2M (EZ)	
クオリティ		▲▲	▲	▲▲	▲	▲▲	▲	▲▲	▲
内蔵メモリー (約50 MB)		13	26	18	37	27	52	47	91
カード	32 MB	7	15	10	21	15	30	27	53
	64 MB	15	32	22	45	32	63	57	105
	128 MB	33	65	46	92	66	125	115	220
	256 MB	65	125	91	180	130	250	220	430
	512 MB	125	250	180	350	250	500	450	860
	1 GB	250	510	360	710	520	1000	900	1720
	2 GB	520	1020	730	1420	1040	1980	1800	3410
	4 GB	1030	2010	1450	2800	2040	3890	3540	6700
	6 GB	1560	3050	2210	4260	3100	5910	5390	10190
	8 GB	2090	4090	2950	5710	4160	7920	7220	13640
	12 GB	3160	6170	4460	8610	6270	11950	10890	20580
	16 GB	4220	8230	5950	11490	8370	15940	14530	27450
	32 GB	8470	16520	11940	23050	16800	31970	29150	55070

お知らせ

- 液晶モニターに表示される記録可能枚数･時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- ズームマクロ設定時またはシーンモードの[変身]、[高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。

			3:2							
	0.3M (EZ)		9M		6M (EZ)		4.5M (EZ)		2.5M (EZ)	
	240	400	10	22	15	31	22	45	35	69
	145	230	6	12	8	18	13	26	20	40
	290	480	13	27	19	38	27	54	43	83
	600	970	27	55	39	78	56	110	88	165
	1170	1900	54	105	77	150	110	210	170	330
	2320	3770	105	210	150	300	210	430	340	650
	4640	7550	210	430	300	600	440	860	680	1310
	8780	12290	440	870	620	1220	890	1700	1360	2560
	17240	24130	870	1720	1230	2410	1740	3350	2680	5020
	26210	36700	1320	2620	1870	3660	2650	5090	4070	7640
	35080	49120	1770	3500	2500	4910	3550	6820	5450	10230
	52920	74090	2680	5290	3770	7400	5360	10290	8230	15430
	70590	98840	3580	7050	5040	9880	7160	13720	10980	20590
	141620	198270	7180	14160	10110	19820	14360	27530	22020	41300

■ 記録可能時間（動画撮影時）

画質設定		WVGA	VGA	QVGA
内蔵メモリー（約50 MB）		―	―	1分37秒
カード	32 MB	16秒	17秒	56秒
	64 MB	37秒	39秒	1分58秒
	128 MB	1分18秒	1分22秒	4分00秒
	256 MB	2分35秒	2分40秒	7分50秒
	512 MB	5分10秒	5分20秒	15分40秒
	1 GB	10分20秒	10分50秒	31分20秒
	2 GB	21分20秒	22分10秒	1時間4分
	4 GB※	41分50秒	43分40秒	2時間5分
	6 GB※	57分00秒	1時間6分	3時間11分
	8 GB※	1時間25分	1時間28分	4時間15分
	12 GB※	1時間55分	2時間14分	6時間26分
	16 GB※	2時間52 分	2時間59分	8時間35分
	32 GB※	5時間45分	5時間59分	17時間13分

※ 動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。
画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

仕様

電源	DC 5.1 V
消費電力	1.2 W（撮影時） 0.6 W（再生時）

カメラ有効画素数	1010万画素
撮像素子	1/2.5型CCD　総画素数1030万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学4倍ズーム　f=5.5 mm～22 mm（35 mmフィルムカメラ換算：33 mm～132 mm）/F2.8～F5.9
デジタルズーム	最大4倍
EX光学ズーム	最大7.1倍
フォーカス	通常/AFマクロ/ズームマクロ/顔認識/9点/1点
撮影範囲	通常：50 cm～∞ マクロ/インテリジェントオート： 5 cm（W端時）/50 cm（T端時）～∞ シーンモード：上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	848×480画素（30コマ/秒、カード使用時のみ）/ 640×480画素（30コマ/秒、カード使用時のみ）/ 320×240画素（30コマ/秒）
連写撮影：連写速度 **連写枚数**	2.3コマ/秒（通常）、約1.7コマ/秒（フリー連写） 最大5コマ（スタンダード）、最大3コマ（ファイン）、 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存（フリー連写）
高速連写：連写速度 **連写枚数**	約6コマ/秒 記録画素数：3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9） 内蔵メモリー使用時：約10枚（フォーマット直後） カード使用時：最大100枚（カードの種類、撮影条件によって異なる）
ISO感度 **（標準出力感度）**	オート/80/100/200/400/800/1600 シーンモードの[高感度]：1600～6400
シャッタースピード	8秒～1/2000秒、シーンモードの[星空]：15秒、30秒、60秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/セットモード
露出	プログラムAE、露出補正（1/3 EVステップ、−2 EV～+2 EV）
測光方式	マルチ測光
液晶モニター	2.7型TFT液晶（約23万ドット）（視野率約100%）
フラッシュ	撮影可能範囲：約30 cm～約6.3 m（W端、[ISO AUTO]設定時）
	オート/赤目軽減オート/強制発光（赤目軽減強制発光）/ 発光禁止/（赤目軽減スローシンクロ）

マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー（約50 MB）/SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/マルチメディアカード（静止画のみ対応）
記録画素数 静止画 動画	 画像横縦比[4:3]設定時 3648×2736画素/3072×2304画素/2560×1920画素/2048×1536画素/1600×1200画素/640×480画素 画像横縦比[3:2]設定時 3648×2432画素/3072×2048画素/2560×1712画素/2048×1360画素 画像横縦比[16:9]設定時 3648×2056画素/3072×1728画素/2560×1440画素/1920×1080画素 848×480画素（カード使用時のみ）/ 640×480画素（カード使用時のみ）/ 320×240画素
クオリティ（圧縮率）	ファイン/スタンダード
記録画像ファイル形式 静止画 動画	 JPEG（DCF準拠、Exif2.21準拠）/DPOF対応 QuickTime Motion JPEG（音声付き動画）
インターフェース デジタル アナログビデオ/ オーディオ	 USB 2.0（Full Speed） NTSC/PALコンポジット（メニュー切り換え）/ オーディオライン出力（モノラル）
端子 AV OUT/DIGITAL	 専用ジャック（8pin）
寸法	約 幅97.0 mm×高さ54.4 mm×奥行き21.7 mm（突起部除く）
質量	約117 g（本体） 約139 g（カード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%～80%
言語切換	なし（日本語のみ）

専用バッテリーチャージャー/DE-A59C

定格出力	DC 4.2 V　0.65 A（充電時）
定格入力	AC100 V—240 V　50/60 Hz
入力容量	15 VA（100 V/240 V）

リチウムイオンバッテリーパック：DMW-BCF10

電圧/容量（最小）	3.6 V/940 mAh

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れなどは・・・

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは・・・

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（93～100ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品　番	DMC-FS7
●故障の状況	できるだけ具体的に

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

補修用性能部品の保有期間 8年

※当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様からお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。また、お客様に折り返し電話させていただくときのために、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
   なお、修理やその確認作業を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

■ 各地域の 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	住所
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　　0509

さくいん

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで！

- 撮りかたのコツや新製品情報　http://panasonic.jp/
- サポート情報　http://panasonic.jp/support/
- 便利なLUMIX修理サービス　http://lumix.jp/repair/

愛情点検　長年ご使用のデジタルカメラの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

F0609HN1089